

基本目標 1 > 変化する福祉ニーズの的確な把握と対応

【推進項目 1】調査研究・提言活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①調査研究活動の充実	
ア) 協働した調査研究活動の実施	
「県社協災害対応の記録」作成に向けた検証作業・事前調査の実施（通年）	
『東日本大震災・福島県社会福祉協議会活動の記録』の作成にあたり、震災直後からの災害に対応した様々な活動を、災害ボランティアセンター各班の活動を中心に振り返り、当時からの取組みについて検証を実施。内容は、記録誌にまとめ以下の通り発刊。	
部 数：800 部	
配布先：市町村社協、都道府県社協、県内社会福祉法人他	
②提言活動の充実	
ア) 調査結果に基づいた提言活動の実施	
「生活支援相談員から見る避難住民生活の現状調査」の結果に基づく提言活動の実施（4 月）	
1. 調査報告書の作成	
部 数：690 部	
配布先：市町村社協、市町村社会福祉主管課等	
2. 調査結果周知	
本会情報誌 4 月号の特集にて、調査結果から得られた内容を社会福祉関係者等に広く周知。	
イ) 社会福祉施策促進委員会の活動の検討	
総合企画委員会を中心とした政策要望及び予算要望の取りまとめ	
（委員会 3 回 5・8・12 月 要望 1 回）	
1. 総合企画委員会の開催	
【第 1 回】	
期日：7 月 24 日	
内容：県議会各会派に対する制度要望及び政策提言案の立案について	
【第 2 回】	
期日：9 月 12 日	
内容：同上	
【第 3 回】	
期日：3 月 13 日	
内容：県議会各会派に対する制度要望及び政策提言実施報告について	
福島県社会福祉協議会活動推進計画進捗状況の評価について	
2. 県議会各会派への制度要望及び政策提言活動の実施	
期日：9 月 19 日	
会派：福島県議会県民連合 自由民主党福島県議会議員会	
公明党福島県議会議員団 日本共産党福島県議会議員団	
福島県議会「福島・みどりの風」（以上、順不同）	
3. 県保健福祉部への予算要望活動の実施	
要望書提出	
期日：9 月 18 日	

要望提出先：県保健福祉部長並びに県子育て支援担当理事

要望提出団体：10 団体

要望に対する個別回答

期日：10 月 16 日

ウ) 種別部会・協議会との連携・協働による提言活動の検討

本会各種別部会・協議会との協働による要望活動の実施

各部会・協議会からの推薦者が委員を務める総合企画委員会にて、各種別からの意見を取りまとめ、
上記 2. の活動を実施。

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(1) 生活福祉資金貸付事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）			
事業報告			
①適切な貸付の実施			
ア) 貸付相談への的確な対応			
生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金の貸付実施（通年）			
1. 資金の貸付の実施			
(1) 総合支援資金 ※金額には、増額決定分を含む			
①生活支援費	決定	74 件	66,697,000 円
②住宅入居費	決定	10 件	1,688,793 円
③一時生活再建費	決定	10 件	1,314,000 円
〔合計〕	決定	94 件	69,699,793 円
(2) 福祉資金			
①福祉費	決定	32 件	17,803,000 円
②緊急小口資金	決定	317 件	25,022,000 円
〔合計〕	決定	349 件	42,825,000 円
(3) 教育支援資金	決定	84 件	75,378,000 円
(4) 不動産担保型生活資金	決定	0 件	0 円
(5) 臨時特例つなぎ資金	決定	29 件	2,213,000 円
(6) 生活復興支援資金 ※福祉資金福祉費の特例貸付			
①一時生活支援費	決定	0 件	0 円
②生活再建費	決定	1 件	608,000 円
③住宅補修費	決定	6 件	6,699,000 円
〔合計〕	決定	7 件	7,307,000 円
生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催（12 回 毎月 1 回）			
【第 1 回】			
期日：5 月 22 日			
内容：平成 23 年度事業実施報告について 他			
【第 2 回】			
期日：8 月 28 日			
内容：不動産担保型生活資金償還猶予（延長）について 他			
【第 3 回】			
期日：12 月 25 日			
内容：福祉資金福祉費（生業費）申請について 他			
【第 4 回】			
期日：3 月 26 日			
内容：要保護世帯向け不動産担保型生活資金の貸付停止について 他			

②債権管理の充実

ア) 滞納世帯の生活状況把握

滞納債権の管理（通年）

1. 債権管理の強化

(1) 滞納債権償還督促通知の送付

期日：5月16日

①生活福祉資金	886 件
②離職者支援資金	62 件
③総合支援資金	349 件
④臨時特例つなぎ資金	69 件

期日：11月14日

①生活福祉資金	870 件
②離職者支援資金	63 件
③総合支援資金	452 件
④臨時特例つなぎ資金	72 件

(2) 滞納世帯に対する償還指導（債権件数）

①電話による対応	298 件
②借受世帯訪問	331 件
③償還滞納世帯面接会	202 件
(3) 償還猶予の実施	10 件
(4) 延滞利子免除の実施	18 件
(5) 償還免除の実施	119 件

緊急小口資金（特例貸付）の債権管理（通年）

1. 償還等に関する電話相談 2,997 件

2. 「償還開始のお知らせ」の宛先不在等による返送通知の再発送

宛先不在等による返送 823 件

住所等再調査による再発送 727 件

3. 滞納債権償還督促通知の送付（11月20日） 10,613 件

宛先不在等による返送 775 件

住所等再調査による再発送 265 件

③実施体制の整備

ア) 相談機能の充実

市町村社協担当職員研修会の開催（2回 4・10月）

1. 生活福祉資金新任担当職員事務取扱説明会

期日：4月20日 参加者：32名（県総合社会福祉センター）

2. 生活福祉資金担当職員研修会

期日：11月16日 参加者：39名（県総合社会福祉センター）

会議・研修会等への参加（5回）

1. 生活福祉資金担当部課長会議（4月25～26日 東京都）

2. 全国生活福祉資金貸付事業担当者研修会（7月9～10日 東京都）

3. 全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会（10月4日～5日 東京都）

4. 北海道・東北ブロック生活福祉資金貸付事業運営協議会（11月29日～30日 山形県）

関係機関との連携（随時 通年）

1. 第1回福島県生活福祉・就労支援協議会（5月28日 福島市）
2. 福島県多重債務者対策協議会（11月21日 福島市）
3. 関係機関・団体等への生活福祉資金貸付制度説明
 - ①福島市飯坂方部民生児童委員協議会研修会（4月19日）
 - ②伊達市民生委員連絡協議会・事務局合同会議（4月24日）
 - ③三春町民生児童委員協議会5月全員協議会（5月17日）
 - ④石川町民生児童委員協議会第2回全体会（7月20日）
 - ⑤檜葉町民生児童委員協議会定例会研修（9月10日）
 - ⑥磐梯町民生児童委員協議会9月定例会（9月26日）
 - ⑦南相馬市鹿島区民生児童委員協議会10月定例会（10月9日）
 - ⑧相馬市民生委員児童委員研修会（12月4日）
 - ⑨いわき市中堅民生委員・児童委員研修会（1月16日）

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】 自立に向けた援助活動

(2) 母子家庭等就業・自立支援センター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①無料職業紹介事業の充実	
ア) 就業相談体制の充実	
職業相談会の実施（36回 通年）	
1. 就職相談会の開催(5 方部) 相談人数計 88 人 (36 回)	
(1) 福島会場（福島県総合社会福祉センター）	
期日：4 月 18 日、5 月 16 日、6 月 18 日、7 月 23 日、8 月 20 日、9 月 19 日、10 月 17 日 11 月 21 日、12 月 19 日、1 月 16 日、2 月 20 日、3 月 11 日	
相談人数計 35 人 (12 回)	
(2) 須賀川会場（県中保健福祉事務所）	
期日：5 月 9 日、7 月 11 日、9 月 12 日、11 月 14 日、1 月 9 日、3 月 13 日	
相談人数計 17 人 (6 回)	
(3) いわき会場（いわき市総合保健福祉センター）	
期日：4 月 25 日、6 月 27 日、8 月 22 日、10 月 24 日、12 月 26 日、2 月 27 日	
相談人数計 22 人 (6 回)	
(4) 会津若松会場（会津保健福祉事務所）	
期日：4 月 11 日、6 月 13 日、8 月 8 日、10 月 10 日、12 月 12 日、2 月 13 日	
相談人数計 12 人 (6 回)	
(5) 南相馬会場（相双保健福祉事務所）	
期日：5 月 23 日、7 月 25 日、9 月 26 日、11 月 28 日、1 月 23 日、3 月 27 日	
相談人数計 2 人 (6 回)	
広報・啓発事業の実施	
1. ひとり親就業サポート強化事業リーフレットの配布	
配布先：ひとり親家庭、関係機関・団体	
配布数：22,760 部	
2. 求職者向けカード、カードフォルダの作成・配布	
配布先：ひとり親家庭、関係機関・団体	
作成数：カード 100,000 枚 カードフォルダ 1,300 個	
会議・研修会等への参加（随時 通年）	
1. ひとり親就業サポート強化事業とひとり親家庭等在宅就業支援事業との連携推進打ち合わせ会議 （5 月 18 日、1 月 17 日 福島市 福島県主催）	
2. 平成 24 年度母子自立支援員等業務研修会（7 月 24 日、1 月 22 日 福島市 福島県主催）	
3. ひとり親就業サポート強化事業内容説明訪問	
（4 月 3 日 ハローワーク須賀川、須賀川市役所、須賀川市社協、県中保健福祉事務所）	
（4 月 13 日 ハローワーク白河・郡山・二本松、白河市役所、郡山市役所、本宮市役所 二本松市役所、県南保健福祉事務所）	
（4 月 20 日 ハローワーク喜多方、喜多方市役所）	
（4 月 23 日 田村市役所）	

(4月25日 ハローワーク平・磐城、いわき市役所)

(5月23日、7月25日、9月26日、11月28日

ハローワーク相双・相馬、相馬市役所、相馬市社協、南相馬市社協)

(9月27日 会津保健福祉事務所、ハローワーク会津若松、ふくしま就職応援センター会津若松窓口)

(10月9日 郡山市役所、ハローワーク郡山)

4. 平成24年度ハローワーク二本松管内生活福祉・就労支援協議会

(8月8日 ハローワーク二本松)

5. 平成24年度東北・北海道ブロック母子家庭等就業・自立支援センター職員養成セミナー

(12月12日 仙台市)

6. ひとり親家庭等在宅就業支援事業 事業説明会 (1月26日 福島市)

イ) 求人情報の提供

就業情報提供事業の実施 (24回 月2回)

1. 新規求人数	405 件 (23年度: 184 件)
2. 求職相談件数	2,728 件 (23年度: 1,722 件)
3. 新規求職登録人数	407 人 (23年度: 229 人)
4. 紹介状発行件数	93 件 (23年度: 51 件)
5. 就職人数	123 人 (23年度: 81 人)
6. 求人情報等提供件数	2,445 件 (23年度: 2,465 件)

ウ) 求人の開拓

求人の開拓 (随時 通年)

1. 企業開拓訪問 (求人開拓) 件数	694 件 (23年度: 322 件)
2. 求人情報数	591 件 (23年度: 344 件)
3. マッチング件数	25 件 (23年度: 8 件)
4. 就職人数	123 人 (23年度: 46 人)
うち常用雇用就職人数	33 人 (23年度: 7 人)
5. アフターフォロー実施数	13 件 (23年度: 17 件)

②就業意識の啓発と能力開発事業の充実

ア) 自立に向けた就業意識の向上

ひとり親自立支援プログラム策定事業の実施 (50人 通年)

1. プログラム作成人数	89 人 (23年度: 65 人)
2. 面接実施件数	162 件 (23年度: 130 件)
3. 福祉から就労事業への移行人数	33 人 (23年度: 8 人)
4. 就職人数	58 人 (23年度: 23 人)

イ) 能力開発のための講習会の実施

講習会の実施

ホームヘルパー養成講座2級課程 (定員5人、受講者5人)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(3) 地域生活定着支援センター事業（新規）

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）

事業報告

①地域生活定着支援センター事業の実施

ア) 特別調整対象者等への支援

コーディネート・フォローアップ・相談支援業務（随時 通年）

1. 特別調整対象者等の依頼人数

24 名（高齢 9、知的 8、高齢知的 1、身体 1、精神 3、高齢精神 1、身体+知的 1）

※県内保護観察所からの依頼 16 名、県外保護観察所等からの依頼 8 名

2. 退所後の受入先帰住（平成 23 年度特別調整対象者も含む）

17 名（高齢 8、知的 6、精神 1、高齢精神 1、身体+知的 1）

3. 支援辞退

2 名（知的 2）

4. 面接・支援実施状況（面接、訪問調整等）

矯正施設面接	市町村（行政）	相談事業所	受入施設等	その他の機関	退所後対応	合計
68	58	10	41	51	22	250

広報啓発活動（随時 通年）

1. 会議・研修等での周知活動

(1) 福島県養護・軽費老人ホーム・ケアハウス連絡協議会総会（4 月 13 日 二本松市）

(2) 福島県知的障害者施設協議会総会（4 月 18 日 福島市）

(3) 老人福祉施設協議会総会（4 月 25 日 郡山市）

(4) 障がい児者福祉施設協議会総会（5 月 10 日 郡山市）

(5) 福島県精神保健福祉士理事会（5 月 12 日 郡山市）

(6) 福島県民生児童委員評議員会（5 月 17 日 福島市）

(7) 地域包括・在宅介護支援センター協議会新任研修（5 月 18 日 郡山市）

(8) 福島県社会福祉士会総会（5 月 20 日 郡山市）

(9) 市町村身体・知的障がい者福祉担当職員会議（5 月 24 日 福島市）

(10) 地域包括・在宅介護支援センター協議会総会（5 月 31 日 福島市）

(11) 福島就労支援ネットワーク研修会（6 月 9 日 福島市）

(12) 県南保健福祉事務所生活保護担当国会議（6 月 27 日 白河市）

(13) 県南地域生活移行圏域連絡会（10 月 4 日 白河市）

(14) 相談支援アドバイザー及び相談支援事業研修会（11 月 20 日 二本松市）

(15) 福島県養護軽費老人ホーム・ケアハウス連絡協議会各職種・施設種別研修会
（11 月 21 日 二本松市）

(16) 福島学院大学講義「社会資源及びソーシャルサポートネットワークの実際」
（12 月 11 日 福島市）

(17) 障がい者相談支援従事者 専門コース別研修（1 月 31 日 二本松市）

(18) 会津地域高齢者福祉計画等連絡会議（1 月 10 日 会津若松市）

(19) 会津保健福祉圏域地域生活移行連絡会（2 月 27 日 会津若松市）

会議の開催

福島県地域生活定着支援センター運営推進委員会

【第1回】(11月28日 福島市)

【第2回】(3月12日 福島市)

会議・研修等への参加

1. 関係会議・研修等への参加

(1) 東北地区救護施設研究協議大会 (6月20日～21日 秋田県)

(2) 全国地域生活定着支援センター協議会定期総会 (6月22日 東京都)

(3) 共生社会を創る愛の基金設立記念シンポジウム (7月8日 東京都)

(4) 東北ブロック定着支援センター所長会議

【第1回】(7月11日 仙台市)

【第2回】(2月4日 仙台市)

(5) 福祉のサービスを必要とする罪を犯した知的障害者等の地域生活支援を行う施設職員等研修会
(9月12～14日 前橋市)

(6) 福島刑務所運動会 (10月17日 福島市)

(7) 北海道・東北ブロック研修会 (11月21日 仙台市)

(8) 全国地域生活定着支援センター第3回現任者スキルアップ研修 (1月16・17日 大阪市)
[県内施設等職員アドバイザー2名派遣を含む]

(9) 北海道・東北管内刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会 (2月5日 仙台市)

(10) 「被害と加害を防ぐ家庭と少年のサポートシステム構築」関係者セミナー (2月6日 福島市)

2. 県外センター視察

山形県地域生活定着支援センター視察 (4月16日)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(4) 生活復興ボランティアセンター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①被災者・避難者の生活支援
ア) 生活支援相談員の階層・テーマ別研修の実施
生活支援相談員基礎研修（1回 3日）
期日：5月9日～10日 参加者：38名（県総合社会福祉センター）
生活支援相談員ステップアップ研修相談援助面接研修応用編（1回 3日）
【第1回】 期日：1月25日 参加者：26名（県総合社会福祉センター）
【第2回】 期日：2月22日 参加者：49名（郡山市総合福祉センター）
【第3回】 期日：3月19日 参加者：25名（いわき市文化センター）
生活支援相談員テーマ別研修（6回 1日）
1. ストレスマネジメント研修
【第1回】 期日：4月24日 参加者：72名（県総合社会福祉センター）
【第2回】 期日：10月31日 参加者：79名（県総合社会福祉センター）
2. チーフ研修（2回、1日）
【第1回】 期日：9月18日 参加者：34名（県総合社会福祉センター）
【第2回】 期日：11月20日 参加者：34名（県総合社会福祉センター）
3. 認知症の理解（基礎編）
期日：6月18日 参加者：90名（県総合社会福祉センター）
4. 認知症の理解（応用編）
期日：8月21日 参加者：95名（県総合社会福祉センター）
5. 認知症の理解と家族の会運営方法
期日：8月22日 参加者：42名（福島市保健福祉センター）
イ) 生活支援に関する情報共有や事例検討の実施
生活支援相談員チーフ会議（6回 1日）
方部ごと事例検討会、統括生活支援相談員巡回訪問時等に併せて実施
浪江町（7月20日、27日、8月7日、29日） 19名
生活支援相談員事例検討会議（4回 1日）
1. 事例検討研修会
期日：5月14日 参加者：77名（県総合社会福祉センター）
2. 方部別に実施（延べ実施回数：7回） 参加者：135名
ウ) 生活支援相談員活動の総合的支援
生活支援相談員活動事例集及び生活支援相談員活動報告書作成配布（1回 9月）

1. 生活支援相談員配置社協を対象にヒアリングを実施し取りまとめ

作成部数：300部 配布先：市町村社協・関係機関

2. 市町村生活支援相談員現状報告会

期日：2月28日 参加者：85名（県総合社会福祉センター）

統括生活支援相談員巡回訪問事業（通年）

1. 市町村社協・関係機関との連絡会等（延べ実施回数：95回）

2. 市町村社協・生活支援相談員活動支援（延べ実施回数：202回）

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

関係会議・研修会等への参加及び協力

1. 県相談支援専門職チームとの連携（代表者会議）（6月29日、2月15日 郡山市）

（方部会・8回）

2. 日本医療社会福祉協会全国大会（5月25日 群馬県）

3. 生活支援相談活動担当者研修会（仮称）企画会議（6月13日 岩手県）

4. 福島県精神保健福祉士会シンポジウム（6月16日 郡山市）

5. 全社協地域福祉推進委員会・被災社協復興支援委員会（7月9日、3月5日 東京都）

（9月21日 宮城県）

6. 生活支援相談員補充（新任）採用者研修（4月17日、7月18日 二本松市）

（1月10日 郡山市）

7. 第49回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会での活動報告

（7月19日～20日 群馬県）

8. 第8回日本福祉大学夏季大学院公開ゼミナール（7月29日 愛知県名古屋市）

9. 生活支援コーディネーターのためのハンドブック作成委員会

（8月1日、8月30日、9月26日、12月5日、1月24日 福島市）

10. 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議・福島チーム会議（8月5日、福島市）

11. NPO法人市民公益活動パートナーズによるふくしま復興塾（8月6日、福島市）

12. 生活支援相談活動担当者連絡会議（9月20日～21日、宮城県松島町）

13. 全社協・被災社協復興支援委員会（9月21日、宮城県松島町）

14. 福島県居住支援協議会連絡会議（10月17日、福島市）

15. 本宮市・浪江町社協共催「ふれあいレクリエーション大会」（10月19日、本宮市）

16. 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」第7回運営委員会（10月22日、宮城県）

17. 東京精神保健福祉士協会・合宿 in 福島 シンポジウム（11月3日、福島市）

18. NPO法人設立・運営ガイド協働制作プロジェクト会議（11月8日、12月13日 福島市）

19. 仮設住宅支援事業事例共有セミナー（11月14日 福島市）

20. 臨時都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議（11月26日 宮城県）

21. JCN現地会議（11月28日 二本松市、3月12日 いわき市）

22. 全国校区・小地域福祉活動サミット in ひょうご（1月12日～13日 兵庫県）

23. 練馬区社協トークセッション&交流会「今だから聞きたい！NPOと被災地支援」

（2月2日 東京都）

24. 全社協・大規模災害対策基本方針に関する委員会（1月17日、2月21日 東京都）

25. 生活支援相談員活動に係る情報交換会（2月27日 宮城県）

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(1) あんしんサポート事業（日常生活自立支援事業）

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
実施状況
①全市町村社協実施 ア) 業務説明会等の開催 市町村社協への業務委託（4～3月）
全市町村社協
市町村社協連絡会議（1回） 期日：8月31日 参加者：38名 内容：23年度事業実施状況・24年度事業実施内容・県に対する要望事項 等
市町村社協方部別連絡会議（5地区 11月） 8月31日の連絡会議の協議内容や課題による協議。避難したことにより判断能力の低下した方や困難ケース等について事業の適切な運営を協議。 【県中地区】 期日：11月6日（ビッグパレットふくしま） 【いわき・双葉地区】 期日：11月22日（いわき市総合福祉センター） 【会津地区】 期日：11月29日（会津若松市北会津福祉センター） 【県南地区】 期日：2月18日（白河市総合福祉センター） 【県北・相馬地区】 期日：3月5日（県総合社会福祉センター）
相談対応、契約等支援（随時 通年） 新規ケースや困難ケースに対する同行及び運営支援 会津坂下町社協（4月9日、4月13日、7月4日） 会津若松市社協（5月2日、5月17日） 富岡町社協（5月18日） 猪苗代町社協（5月24日、5月31日、6月7日、6月21日） 塙町社協（7月17日、8月1日） 矢祭町社協（8月17日、8月22日、8月29日） 飯舘村社協（11月19日、12月3日、12月18日） 玉川村社協（12月19日） 浪江町社協（1月7日） 磐梯町社協（2月12日） 喜多方市（2月12日）
市町村社協への現地確認（随時 通年） 利用者ファイルや通帳等の保管状況や運営状況の現地（市町村社協）確認調査 大玉村社協（6月22日） 古殿町社協（7月17日） 白河市社協（2月4日） 会津若松市社協（2月26日）

契約締結審査会（6回 5・7・9・11・1・3月）

契約締結能力に疑義があるケースを専門的見地から審査会を開催し適切な支援に努めた。

【第1回】

期日：5月8日

内容：平成24年3月～4月の契約ケース21件、解約ケース9件の協議等

【第2回】

期日：7月10日

内容：平成24年5月～6月の契約ケース20件、解約ケース6件の協議等

【第3回】

期日：9月11日

内容：平成24年7月～8月の契約ケース14件、解約ケース5件の協議等

【第4回】

期日：11月13日

内容：平成24年9月～10月の契約ケース18件、解約ケース7件の協議等

【第5回】

期日：1月8日

内容：平成24年11月～12月の契約ケース27件、解約ケース12件の協議等

【第6回】

期日：3月5日

内容：平成25年1月～2月の契約ケース18件、解約ケース25件の協議等

県への予算確保の要望活動（1回 6月）

市町村社協連絡協議会との連携により要望提出。

県知事へ日常生活自立支援事業に関する要望書提出

期日：7月12日 県保健福祉部次長

県議会福祉公安委員会正副委員長に対する事業説明

期日：8月30日

イ）事務軽減の検討実施

本事業実施様式の一部改正（5月）

本事業の運用や様式等の簡略化等について連絡会等で協議。

②関係者が潜在的利用者を発掘する取り組み

ア）市町村社協担当職員の相談援助技術の向上

市町村社協新規専門員及び担当職員業務内容説明会（1回 4月）

1. 市町村社協新規専門員研修会

期日：4月20日 参加者：17名（県総合社会福祉センター）

2. 担当職員研修会

期日：8月31日 参加者：38名（県総合社会福祉センター）

市町村社協連絡会議（再掲）（1回 5月）

期日：8月31日 参加者：38名（県総合社会福祉センター）

内容：23年度事業実施状況、24年度事業実施内容、県に対する要望事項 等

生活支援員新規委嘱者研修会

新規生活支援員への事業理解を図るため、事業の基本的内容の研修実施。

西会津町社協（6月7日）

郡山市社協（9月26日）

いわき市社協（10月3日）

川俣町社協（11月14日）

郡山市社協（11月20日）

福島市社協（1月25日）

本宮市社協（2月28日）

郡山市社協（2月28日）

生活支援員実働者研修会

生活支援員（実働者）に対する研修実施。

期日：7月31日 場所：郡山市労働福祉会館 参加者：43名

イ）関係者等が潜在的利用者を発見するための周知活動

パンフレット作成（10,000部 6月）

関係機関配布用10,000部、利用者配布用10,000部の作成。

関係機関・団体等への制度周知（随時 通年）

民児協の定例会や各種研修会にて事業の説明。

福島県民生児童委員協議会 評議員会（5月17日）

訪問介護員初任者研修（5月31日）

棚倉町ケアマネジャー会議（6月20日）

福島大学講義（6月23日）

磐梯町民生児童委員協議会定例会（8月24日）

いわき市社協職員研修会（10月3日）

安達公民館あだち生涯学級学習会（10月18日）

檜葉町民生児童委員協議会定例会（3月8日）

二本松市安達方部民生児童委員協議会研修会（3月11日）

いわき市民生児童委員協議会新任民生委員研修会（3月19日）

福島県運営適正化委員会運営監視部会報告（2月6日）

③成年後見制度利用促進

ア）本事業と成年後見制度の周知

暮らしのあんしんセミナー（1回 7月）

住民対象にあんしんサポート及び成年後見制度の周知を図る。（講義・テーマ劇による）

三島町・金山町・昭和村民児協研修会（9月19日）

川俣町家族介護教室（9月29日）

泉崎村元気はつらつ教室全体会（11月27日）

イ）本事業から成年後見制度移行のシステムづくり

本事業から成年後見制度移行への指針の検討（12月）

市町村社協方部別連絡会及び関係機関連絡会議において検討。

関係機関連絡会議（3 地区）

本事業と成年後見制度に関係する弁護士会・司法書士会・社会福祉士会・家庭裁判所・行政・社協の参加により、権利擁護のあり方等について協議。

【県中地区】 期日：11 月 6 日（ビッグパレットふくしま）

【いわき地区】 期日：11 月 22 日（いわき市総合福祉センター）

【会津地区】 期日：11 月 29 日（会津若松市北会津福祉センター）

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容会議・研修会等への参加

1. 都道府県・指定都市社協日常生活自立支援事業所長会議（全社協 5 月 30 日）
2. 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ（全社協 7 月 26～27 日）
3. 市民後見人に関する講演会（福島市 4 月 7 日）
4. 成年後見研修会（基礎研修）（福島市 6 月 28 日、7 月 5 日、7 月 12 日、7 月 19 日）
5. 権利擁護支援フォーラムⅠNいわき（いわき市 10 月 6 日）
6. 北海道・東北ブロック日常生活自立支援事業担当会議（岩手県 12 月 5～6 日）
7. 成年後見シンポジウム（福島市 2 月 2 日）
8. 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ（神奈川県 2 月 21～23 日）
9. 権利擁護・虐待防止セミナー（全社協 3 月 1 日）

{問合せ・相談件数、契約件数} ※平成 25 年 3 月 31 日現在 () 内は平成 23 年度同時期。

	計	高齢者（認知症等）	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他	その他相談
問合せ・相談件数	11,237 件 (8,967 件)	4,891 件 (4,078 件)	3,074 件 (2,248 件)	1,895 件 (1,884 件)	1,370 件 (757 件)	7 件 (0 件)
初回相談件数	330 件 (309 件)	216 件 (172 件)	36 件 (66 件)	45 件 (44 件)	33 件 (27 件)	
契約件数	116 件 (87 件)	64 件 (47 件)	19 件 (16 件)	20 件 (18 件)	13 件 (6 件)	

{契約件数の累計} ※平成 25 年 3 月 31 日現在

	計	高齢者（認知症等）	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他
契約件数(事業開始以来件数)	609 件	349 件	108 件	88 件	64 件
解約件数(事業開始以来件数)	299 件	201 件	35 件	29 件	34 件
実利用件数(3 月末)	310 件	148 件	73 件	59 件	30 件
契約準備件数(3 月末)	17 件	8 件	2 件	4 件	3 件

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(3) 福祉サービス第三者評価事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①福祉サービス第三者評価事業の実施	
ア) 福祉サービス第三者評価の受審促進 福祉サービス第三者評価事業（通年）	
1. 広報の実施	
(1) 県社協部会・協議会等を通じた周知	
①児童福祉施設部会総会（5月15日）	
②児童福祉施設部会・母子生活支援施設部会合同第三者評価事業説明会（8月6日）	
2. 評価申込みの受付	
(1) 福島県矢吹しらうめ荘（障害者支援施設）	
(2) 玉川ホーム（特別養護老人ホーム）	
(3) 青葉学園（児童養護施設）	
(4) 福島学園（児童自立支援施設）	
3. 申込施設に対する事前説明及び周知訪問	
(1) 特別養護老人ホーム（2施設）	
(2) 障害者支援施設（2施設）	
(3) 保育所（5施設）	
(4) 社会的養護施設（8施設）	
4. 評価調査（書面調査・利用者調査・訪問調査）の実施	
(1) 福島県矢吹しらうめ荘（第1回訪問10月3日、第2回訪問10月31日）	
(2) 玉川ホーム（第1回訪問12月6日、第2回訪問1月10日）	
(3) 福島学園（第1回訪問1月22日、第2回訪問2月19日）	
(4) 青葉学園（第1回訪問2月8日、第2回訪問3月8日）	
5. 評価審査委員会の開催	
(1) 4月19日 福島市	
(2) 12月13日 福島市	
(3) 2月21日 福島市	
(4) 3月21日 福島市	
6. 関係会議への参加	
(1) 第1回福島県第三者評価推進組織と評価機関との連絡会議（5月11日 福島市）	
(2) 平成24年度「評価事業普及協議会」（5月23日 東京都）	
(3) 第1回福島県福祉サービス第三者評価推進会議（6月13日 福島市）	
(4) 第2回福島県第三者評価推進組織と評価機関との連絡会議（8月10日 福島市）	
(5) 福島県福祉サービス第三者評価調査者交流会（10月26日 福島市）	
(6) 社会的養護施設第三者評価研修会（11月12日 福島市）	
(7) 北海道・東北ブロック道県・政令指定都市社協第三者評価事業等推進会議 （11月29～30日 青森県青森市）	
福祉サービス第三者評価～自己評価～研修	
福祉サービス第三者評価研修の開催（3月6日 福島市 19名参加）	

イ) 評価調査者の質の向上

評価調査者の養成・質の向上

評価調査者養成及び継続研修

(1) 社会的養護関係施設福祉サービス第三者評価事業評価調査者養成研修会

【第1回】(5月23日～26日 東京都)

【第2回】(9月3日～4日 東京都)

(2) 福島県福祉サービス第三者評価調査者養成研修(10月9～12日 福島市)

(3) 福島県福祉サービス第三者評価調査者継続研修(10月26日 福島市)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(4) 福島県運営適正化委員会

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①苦情解決事業の充実 ア) 苦情解決部会、運営監視部会の効果的・効率的運営 運営適正化委員会本会議の開催（2回 10・3月） 【第1回】 期日：9月28日 内容：委員長、副委員長の選任 部会委員の指名 部会長の選任 等 【第2回】 期日：3月15日 内容：平成24年度事業実施状況報告、平成25年度事業計画（案）
苦情解決部会の開催（6回 隔月） 期日：4月20日、6月15日、8月9日、12月14日、1月31日、3月8日 内容：苦情申出に係る協議・検討
運営監視部会の開催（2回 10・2月） 【第1回】 期日：11月2日 内容：平成24年度現地調査の内容検討 【第2回】 期日：2月6日 内容：日常生活自立支援事業の実施状況、現地調査の結果、助言・勧告の有無 現地調査：相馬市（11月27日）、西郷村（11月28日）、大玉村・矢吹町（11月29日）の各社協
苦情受理、調査及び斡旋（随時 通年） 1. 苦情受付件数 35件 （高齢者・21件、障がい・10件、児童・2件、その他・2件） （内容：職員の接遇 21件、サービスの質や量 2件、利用料 1件、説明・情報提供 3件 被害・損害 5件、権利侵害 1件、その他 2件） 2. 相談件数 14件
運営適正化委員会委員選考委員会の開催 1. 運営適正化委員会選考委員候補者に関する公示 公示期間：8月10日～23日 公示場所：本会及び市町村社協掲示板、本会情報誌「はあとふるふくしま」8月号 2. 運営適正化委員会委員選考委員会の開催 期日：9月18日 内容：委員長・副委員長の選出、運営適正化委員会委員の選任

イ) 広報・啓発活動の充実 ポスター、カード型パンフレットの配布（随時 通年）		
本会情報誌「はあとふる・ふくしま」へ広告を掲載（8 か月）		
事業報告書作成（1 回 5 月）		
作成部数：1,500 部 配布先：各社会福祉法人		
②社会福祉施設（事業所）への支援		
ア) 事業所への研修の充実		
1 苦情解決事業研修 2 苦情解決事業基礎研修 (4 回 8・12 月)		
【第1回】（苦情解決責任者、苦情受付担当者対象）	期日：8 月 29 日	参加者：239 名
【第2回】（苦情受付担当者対象）	期日：11 月 7 日	参加者：285 名
【第3回】（苦情受付担当者対象）	期日：11 月 20 日	参加者：246 名
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容		
苦情案件に関する事業所訪問（随時 通年）		
1. 苦情解決部会委員、事業所、申出人との話し合い		
期日：9 月 3 日		
2. 事業所訪問		
対象：平成 24 年度及び過去に苦情の申し出があった事業所		
期日：1 月 24 日、3 月 5 日、3 月 22 日		
種別：障害関係（2 か所）、老人関係（1 か所）		
3. 委員研修を目的とした事業所訪問		
訪問先：高齢者関係施設（2 か所）		
期 日：2 月 25 日		
委 員：苦情解決部会委員 5 名、事務局		
全国会議への参加（3 回 7・10・2 月）		
1. 都道府県運営適正化委員会委員長・事務局長会議出席（7 月 6 日 東京都）		
委員長、事務局長出席		
2. 第 8 回権利擁護・虐待防止セミナー（3 月 1 日 東京都）		
苦情解決部会委員 2 名、事務局相談員出席		
ブロック会議への参加（1 回 11 月）		
ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議（10 月 25～26 日 盛岡市）		

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 4】 広報啓発、情報提供活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①広報啓発の充実	
ア) 情報誌の充実	福祉情報誌『はあとふる・ふくしま』の発行（12回 毎月）
1. 内容の刷新	4月よりコーナーを刷新 「ふくしま、明日への一步」 「知っておきたい福祉ワード」 「ふくしまから“ありがとう”」等のコーナー新設。
2. 見やすい誌面づくり	読者の目がすべての誌面に行き渡るよう、中面2色刷りからフルカラー化。
イ) ホームページの充実	最新情報の掲載及び「“ふくしま” からありがとう」コーナーの継続（随時 通年）
	計44の「ありがとう」の紹介 ホームページのアクセス数 107,642件（年間）
ウ) 発行物の効果的な活用	本会パンフレット作成（4月）
	部数 : 2,100部 配布先: 会員施設等
	本会10年小史発行
1. タイトル: 「福島県社会福祉協議会 10年の歩み」	
2. 部数 : 850部	
3. 採録期間: 2002（平成14）年4月から2012（平成24）年3月までの10年	
4. 執筆体制: 職員による社内執筆	
エ) 新たな広報活動の検討	様々な広報手段の活用
	Facebook ページの運用開始（3月）
情報内容	（1）本会主催イベント、講習会、研修会等に関する情報 （2）災害時のボランティア募集や支援物資、義援金受付に関する情報 （3）本会ホームページの更新情報
②表彰事業の実施	
ア) 各種表彰の実施	第66回福島県社会福祉大会の実施（1回 10月）
	（1）第66回福島県社会福祉大会 参加者1,280名 期日 11月2日 会場 二本松市民会館

内容 ①記念講演

演題 『人と人がつながり共に支え合える地域づくりをめざして』

講師 東京ボランティア・市民活動センター所長

神奈川県立保健福祉大学顧問 山崎 美貴子氏

②式典・表彰状・感謝状贈呈

福島県知事感謝状

「瓜生岩子賞」表彰状

大会会長表彰状、感謝状

「赤い羽根共同募金運動スローガン」表彰状

第20回瓜生岩子賞の贈呈

期日 同上

会場 同上

受賞者 難波朝重 氏（郡山市）

山下勝弘 氏（西郷村）

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】 ボランティア・住民参加活動

(1) ボランティア・市民活動の振興

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①ボランティア・市民活動の基盤強化	
ア) 中間支援型組織の機能強化	
うつくしまコラボネットワーク会議（1回 30名程度 1月）	
期日：1月24日 参加者：13名（郡山市総合福祉センター）	
イ) 受け入れ型組織に対する支援	
ボランティア受入福祉施設等担当者研修（【基礎】【ステップアップ】各1回）	
1. 【基礎】	期日：7月10日 参加者：43名（ウィル福島）
2. 【ステップアップ】	期日：7月18日 参加者：41名（ウィル福島）
ウ) 企業の社会貢献活動に対する支援	
アンケート・ヒアリング調査（随時 通年）	
福島県内 2,362 の事業所を対象に社会貢献活動の実態調査（アンケート）を実施	
②地域福祉を支える担い手の育成	
ア) インフォーマルサービスの拡充	
コミュニティソーシャルワーク研修会（1回(2日)30名程度 12月）	
期日：3月12日～13日 参加者：10名（県男女共生センター）	
生活支援サービス応援講座（1回(1日)30名程度 9月）	
期日：10月10日 参加者：43名（県総合社会福祉センター）	
協働による地域の福祉力向上事業（2回(1日) 10、12月）	
1. 新地町	期日：10月27日 参加者：約40名（新地町保健センター）
2. 国見町	期日：12月12日 参加者：約100名（JA伊達みらい国見総合支店）
イ) 学びの場の創出	
学生による協働の場づくり（1回(半日) 6月）	
1. 学生による協働の場づくり	期日：6月16日 参加者：14名（県青少年会館）
2. ふくしま復興支援学生ネットワーク会議	期日：4月24日（郡山市） 期日：9月28日（郡山市） 期日：11月16日（二本松市） 期日：1月30日（福島市） 期日：3月1日（郡山市）
3. ふくしま復興支援学生ネットワークシンポジウム	

期日：3月20日 参加者：約40名（福島テルサ） 内容：基調講演、トークセッション、ワークショップ等
地域で取り組む福祉教育推進事業（県内2ヶ所 通年） 指定：須賀川市社協、南相馬市社協
③災害に備えた支援の強化 ア) 要綱や指針などの策定支援 巡回訪問（随時 通年）
第1回二本松市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会（8月31日）
イ) 災害ボランティアセンターに必要な訓練、研修会等の充実 災害ボランティアセンター運営講座（1回（1日）40名程度 8月）
期日：12月7日 参加者：約31名（県総合社会福祉センター）
【追加】災害（生活復興）ボランティアセンター運営支援
1. 南相馬市小高区警戒区域解除に伴う南相馬市生活復興ボランティアセンター支援 職員派遣 延べ22名（5月19日～7月22日） 2. 九州北部豪雨災害に伴う救援活動 第1班 大分県竹田市 7月20日～7月27日 （本会1名、喜多方市社協2名、郡山市社協1名） 第2班 熊本県阿蘇市 7月26日～8月2日 （本会1名、喜多方市社協1名、浪江町社協1名、いわき市社協1名） 第3班 福岡県八女市 8月1日～8月8日 （本会1名、福島市社協1名、相馬市社協1名、新地町社協1名）
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 ボランティア活動推進委員会（2回（半日） 8・3月）
【第1回】 期日：8月29日 内容：平成23年度の事業報告及び平成24年度の事業計画と経緯報告等 【第2回】 期日：3月19日 内容：平成24年度の事業経過報告及び平成25年度の事業計画（案）等
会議・研修会等への参加
1. 都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議（4月25～26日 東京都） 2. 第21回全国ボランティアフェスティバルみえ（9月29～30日 三重県）
市町村ボランティアセンター活動実践事例集の作成・配布（8月）
作成部数：250部 配布時期：10月 配布先：市町村社協、市民活動支援センター、関係機関等
ふくしまボランティアフェスティバル＜共同募金配分事業＞（1回（1日）600名程度 11月） 期日：2月23日 参加者：約600名（パルセいいざか） 内容：記念式典、記念講演、分科会等

関係機関等への講師派遣及び協力援助

1. 桜の聖母短期大学 (4月27日 福島市)
2. 大熊町ボランティア連絡協議会 (5月23日 会津若松市)
3. 福島県消防学校情操教育 (9月20日 福島市)
4. 郡山市社協「災害救援ボランティア養成講座」(10月20日 郡山市)
5. 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」第7回運営委員会 (10月22日 仙台市)
6. 大熊町社協 (11月20日 いわき市)
7. 大熊町社協 (12月13日 会津若松市)
8. 矢祭町・塙町・棚倉町・鮫川村社協共催「ボランティアステップアップ研修会」(2月1日 鮫川村)
9. 国分寺社協 (2月6日 福島市)
10. 伊達市役所「介護予防サポーター養成講座」(3月7日 伊達市)

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】ボランティア・住民参加活動

(2) 長寿社会推進事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①長寿社会に向けての普及啓発活動の推進 ア) 広報誌の発行等 長寿社会に向けての的確な情報提供（12 回程度 月 1 回程度） 1. 長寿社会推進センター運営委員会の開催 期日：3 月 21 日（福島市） 内容：平成 24 年度事業実施状況について 平成 25 年度事業計画（案）について 2. 本会情報誌「はあとふる・ふくしま（別冊）」による広報 部数：毎月 11,000 部 配布先：県、市町村、市町村社協、市町村老人クラブ連合会等 3. 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会への参加 （1）全国会議、ブロック会議 ①総会 第 1 回総会（7 月 11 日 東京都） 第 2 回総会（2 月 21 日 東京都） ②北海道・東北ブロック会議（1 月 29 日 札幌市） （2）研修会 ①職員研修会（スキルアップ 3 日コース 10 月 29～31 日 東京都） ②地域活動推進者中央研修会（12 月 3～4 日 東京都）
イ) いきいき長寿県民賞の顕彰 長寿社会イメージアップ作戦事業（1 回 9 月中旬） 第 15 回いきいき長寿県民賞の表彰 応募件数：個人 50 件、団体 20 件 計 70 件 表彰式：8 月 29 日 ビッグパレットふくしま（郡山市） 受賞者：個人 10 名
ウ) 自主事業の実施 自分史づくり推進事業（10 回 通年） 元気高齢者発信事業（6 件程度 通年） 1. 自分史づくり推進事業 自分史講座開催（県内 5 箇所 10 回） 2. 元気高齢者発信事業（活動事例調査及び広報 6 件） 国見町 1 件、郡山市 2 件、三春町 1 件、下郷町 1 件、南相馬市 1 件
②高齢者の社会参加を促進するための環境整備 ア) シルバー美術展の開催 うつくしま・ふくしま健康福祉祭（1 回 9 月）

第 22 回福島県シルバー美術展の開催

期日：9 月 6～10 日

場所：福島市アクティブシニアセンター（AOZアオウゼ）

作品展示数：390 点

イ) 高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会への支援

いきいきシニア活動サポート事業（通年 通年）

サザンクロスクラブへの助成金交付 6 方部 1,050 千円

③高齢者総合相談事業の実施

ア) 高齢者総合相談センターの運営

高齢者総合相談センターの運営事業（通年 通年）

高齢者総合相談センターの運営

相談件数 1,163 件（前年同月比 189 件増）

ア 一般相談

相談件数：987 件（前年同月比 172 件増）

内訳 ・窓口相談 959 件（157 件増）

・巡回相談会 24 件（13 件増）

・出張先 4 件（2 件増）

イ 専門相談

相談件数：176 件（前年同月比 17 件増）

内訳 ・窓口相談 115 件（12 件減）

・巡回相談会 35 件（5 件増）

・出張先 26 件（24 件増）

ウ 巡回相談

本宮市ほか 11 市町 59 件（再掲）

エ 出張相談

相談件数：30 件（再掲）

イベント名：うつくしま県民健康大会

期日：8 月 29 日 ビッグパレットふくしま（郡山市）

イ) 認知症コールセンターの運営

認知症コールセンターの運営事業（通年 通年）

認知症コールセンターの運営

相談件数 269 件（前年同月比 77 件増）

電話相談 254 件（70 件増）

面接相談 15 件（7 件増）

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】 ボランティア・住民参加活動

(3) 県民介護講座

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）		
事業報告		
①県民介護講座の実施		
ア) 県民のニーズに対応したプログラムの充実		
初級介護講座（2回 2日）		
期日：6月2日	参加者：26名	（前年度：25名）
期日：9月29日	参加者：21名	（前年度：19名）
介護セミナー（1回 1日）		
期日：11月24日	参加者：38名	
認知症介護セミナー（1回 1日）		
期日：9月21日	参加者：130名	（前年度：78名）
介護ワンポイント講座（12回 12日）		
期日：5月26日「高齢者を体験してみよう」	参加者：19名	（23年度：17名）
6月16日「認知症を正しく知ろう」	32名	（21名）
7月7日「医療と福祉」	27名	（21名）
7月14日「福祉用具と住宅改修」	31名	（20名）
8月11日「介護する家族の心のケア」	16名	（18名）
9月8日「元気に年を重ねよう」	29名	（今年度新設科目）
10月6日「高齢者を体験してみよう」	19名	（12名）
10月20日「認知症を正しく知ろう」	45名	（25名）
1月12日「医療と福祉」	35名	（16名）
1月26日「福祉用具と住宅改修」	25名	（5名）
2月9日「介護する家族の心のケア」	35名	（20名）
2月16日「元気に年を重ねよう」	31名	（今年度新設科目）
	計：344名	（175名）
オーダーメイド介護講座（18回 18日）		
期日：4月13日（福島介護福祉専門学校①）	参加者：17名	（23年度：19名）
4月20日（福島介護福祉専門学校②）	18名	（19名）
4月20日（福島介護福祉専門学校③）	17名	（19名）
4月25日（福島介護福祉専門学校④）	17名	（19名）
7月27日（公立学校共済組合福島支部①）	17名	（13名）
8月2日（公立学校共済組合福島支部②）	15名	（2名）
8月9日（公立学校共済組合福島支部③）	16名	（7名）
8月10日（公立学校共済組合福島支部④）	19名	（7名）
9月5日（福島県警察学校①）	34名	（24名）
9月6日（福島県警察学校②）	34名	（27名）
11月21日（ポラリス保健看護学院①）	22名	（20名）

11月22日（ポラリス保健看護学院②）	24名（	22名）
12月12日（二本松市立北小学校①）	29名（	30名）
12月12日（二本松市立北小学校②）	28名（	29名）
12月13日（二本松市立北小学校③）	29名（	30名）
1月8日（福島県警察学校③）	36名（	35名）
1月9日（福島県警察学校④）	31名（	33名）
2月27日（福島県警察学校⑤）	34名（23年度未実施）	
計：437名（		355名）

介護実技基本講座（12回 12日）		
期日：6月9日	「よりラクで、安全な移動」	参加者：31名（23年度：23名）
6月23日	「食事の介助とその工夫」	22名（22名）
6月30日	「高齢者の栄養と食事」	23名（20名）
7月28日	「排泄の介助とその方法」	34名（28名）
8月4日	「ベッド周りの介助と清潔を保つ方法」	23名（30名）
9月1日	「緊急時や災害時における対応」	36名（今年度新設科目）
10月13日	「よりラクで、安全な移動」	32名（20名）
11月10日	「食事の介助とその工夫」	38名（18名）
11月17日	「高齢者の栄養と食事」	34名（16名）
12月22日	「排泄の介助とその方法」	39名（13名）
1月19日	「ベッド周りの介助と清潔を保つ方法」	29名（5名）
2月2日	「緊急時や災害時における対応」	29名（今年度新設科目）
計：370名（		195名）

介護の日記念フォーラム2012の開催（1回 1日）		
期日：11月23、24日	参加者 78名	
介護セミナー		
県民介護講座（特別編）※運営協力：一般社団法人福島県介護福祉士会		
高齢者疑似体験		

イ）「認知症キャラバン・メイト養成」と県民への正しい知識の普及促進		
認知症キャラバン・メイト養成研修（3回 3日）		
1. 二本松会場		
期日：6月15日	参加者：55名（23年度：92名）	
2. 会津若松会場		
期日：6月26日	参加者：68名（	34名）
3. いわき会場		
期日：6月29日	参加者：34名（23年度未実施）	
計：157名（		126名）

認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修（交流会）		
期日：3月14日	参加者：63名（23年度：16名）	

ウ）地域で開催する介護講座に対する支援の充実		
高齢者介護ガイドブック“いきいき”作成（5月）＜共同募金配分金事業＞		

部数 : 2,500 部

配布先 : 市町村社協、地域包括支援センター、在宅介護支援センター
福島県応急仮設住宅地域高齢者等サポート拠点 (全 219 ヶ所)

エ) 委員会等の開催 (2 回 11 月、3 月)

1. 福島県介護研修事業検討委員会

【第 1 回】

期日 : 11 月 15 日

場所 : 福島県男女共生センター

内容 : (ア) 平成 24 年度事業実施中間報告について

(イ) 平成 24 年度事業 (下半期事業) の実施計画等について

【第 2 回】

期日 : 3 月 5 日

場所 : 福島県男女共生センター

内容 : (ア) 平成 24 年度事業実施報告について

(イ) 平成 25 年度事業実施計画 (案) について

2. 福祉用具 : 住宅環境改善研修講師打合せ会

期日 : 5 月 25 日

場所 : 福島県男女共生センター

内容 : 研修プログラムの確認と講師担当科目調整

3. オーダーメイド介護講座 (ポラリス保健看護学院) 実施打合せ

期日 : 10 月 30 日

場所 : 福島県男女共生センター

内容 : 講座実施方法、プログラムについて

4. 認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修 (交流会) 講師打合せ会

期日 : 2 月 28 日

場所 : 福島県男女共生センター

内容 : プログラム編成について

オ) 会議等への出席

1. 福島県介護福祉士会総会

期日 : 5 月 25 日

会場 : 福島県農業総合センター

2. 福島県福祉用具・住宅改修支援協議会

【第 1 回】期日 : 11 月 15 日 【第 2 回】期日 : 3 月 5 日

場所 福島県男女共生センター

3. 住友生命「さわやか介護セミナー」

期日 : 12 月 1 日

場所 : 郡山ビューホテル

4. 飯舘村地域包括支援センター「介護者のつどい」

期日 : 2 月 23 日

場所 : 福島県男女共生センター

カ) 介護講座に関する情報収集と提供

1. 県民介護講座開催案内チラシの作成・配布 (20,000 部・871 ヶ所)
2. 本会情報誌「はあとふる・ふくしま」開催案内掲載による広報
3. 本会並びに県男女共生センターホームページ、メールマガジンによる広報
4. 福島民報、福島民友、福島中央新報 (二本松市地方紙) の開催案内掲載による広報
5. 医療・健康専門フリーペーパー「ぷろぷる」(㈱ディップス《福島市》) への県民介護講座開催案内掲載並びに「介護コラム」寄稿による介護用品情報等の提供
6. 「良質な福祉用具・介護ロボット実用化を進めるための体験型・意見交換会」
(福島県男女共生センター主催、財団法人テクノエイド協会後援) の実施協力
7. 介護ロボット「HAL (ハル)」デモンストラレーション授業実施協力
(郡山健康科学専門学校) 【協力メーカー：サイバーダイン社郡山支社】

基本目標 4 > 福祉サービスの質の向上に向けた支援

【推進項目 6】福祉人材の養成・確保

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）		
事業報告		
①福祉人材養成・確保に関する関係機関との協働		
ア) 無料職業紹介所機能の充実		
求職・求人登録及び職業相談・紹介（随時 通年）		
1. 新規求人件数	1,597 件	（23 年度：1,067 件）
2. 新規求人数	3,732 人	（2,559 人）
3. 有効求人数	9,955 人	（7,150 人）
4. 新規求職者数	1,206 人	（839 人）
5. 有効求職者数	5,404 人	（4,968 人）
6. 就職人数	387 人	（212 人）
7. 有効求人倍率	1.84 倍	（1.44 倍）
8. 新規求人倍率	3.09 倍	（3.05 倍）
福祉の仕事相談会の開催（5 方部）（毎月・隔月 計 48 回）		
計 94 件（23 年度：102 件）		
・郡山市	（第 4 月曜日）	相談件数：31 件（23 年度：31 件）
・会津若松市	（第 1 水曜日）	28 件（39 件）
・いわき市	（第 2 水曜日）	25 件（22 件）
・白河市	（第 2 金曜日）	7 件（9 件）
・南相馬市	（第 3 木曜日）	3 件（1 件）
※白河市、南相馬市は隔月開催		
福祉人材センター協力指定事業の実施（6 社協）		
1. 指定社協		
福島市、郡山市、白河市、会津若松市、南相馬市、いわき市		
2. 指定内容		
福祉人材センター事業の広報啓発、求職登録受付など		
インターネットによる職業紹介の実施（随時 通年）		
アクセス数： 175,739 件（23 年度：88,400 件）		
ハローワークにおける相談活動（随時 通年）		
1. 福祉の仕事相談会 計 116 回 422 名（23 年度：132 回 259 名）		
ハローワーク二本松	12 回 48 名	（23 年度：41 回 43 名）
ハローワーク郡山	21 回 79 名	※新規
ハローワーク須賀川	12 回 43 名	（9 回 11 名）
ハローワーク白河	12 回 50 名	（11 回 66 名）
ハローワーク会津若松	12 回 41 名	（9 回 25 名）
ハローワーク喜多方	12 回 41 名	（19 回 35 名）
ハローワーク相双	12 回 53 名	（3 回 8 名）
ハローワーク平	23 回 67 名	（40 回 71 名）

2. 就職支援セミナー 計 140回 973名 (23年度: 82回 808名) ハローワーク福島 24回 173名 (23年度: 20回 227名) ハローワーク二本松 12回 104名 (5回 73名) ハローワーク郡山 21回 122名 (16回 135名) ハローワーク須賀川 12回 81名 (9回 12名) ハローワーク白河 12回 184名 (11回 189名) ハローワーク会津若松 12回 54名 (9回 45名) ハローワーク喜多方 12回 69名 ※新規 ハローワーク相双 12回 91名 (3回 10名) ハローワーク平 23回 95名 (9回 117名) 3. 民間企業・行政等主催就職フェア・セミナー等への出展参加 参加回数: 20回 (23年度: 14回) 相談者計: 132名 (23年度: 111名)	
福祉の仕事ガイドブックの作成 (1,500部 1月)	
1. 「福祉の仕事ガイドブック」の作成 部数: 7,000部 配布先: 求職者等 2. 中高年・再就職希望者向け啓発資料「福祉の職場に就職した先輩からのスタートメッセージ」作成 部数: 9,000部 配布先: 各ハローワーク、求職者等	
「はあとふる・ふくしま」による広報・啓発 (毎月 (広告)・特集 (年2回) 10・2月)	
10月号特集: 「『福祉人材の養成・確保に向けて』～中学生・高校生に『福祉の仕事』の魅力を伝え、理解を深めてもらうために～」 2月号特集: 「『福祉・介護職場の人材確保・定着・育成に向けて』～働き続けたい職員の想いに応えるために」	
電話、ポスター、リーフレット、JR等媒体掲載等 (随時 通年)	
福祉人材センター啓発資料の作成 部数: ポスター550枚、リーフレット 10,000部	
福祉啓発ビデオの貸出 (随時 通年)	
貸出本数: 227本 (23年度: 228本)	
福祉人材の確保・育成・定着に関する調査の実施 (1回 11月)	
調査対象: 県内の福祉施設・事業所 (高齢・障害・児童) 調査内容: 県内の福祉施設・事業所における人材の確保・育成・定着に関する現状を把握することにより、福祉人材の確保・育成・定着に関する課題等を明らかにし、本会と福祉施設・事業所、並びに関係機関が共通した認識をもって各種の対策等を進めることができるようにすることを目的に実施。 調査期間: 平成24年12月25日～平成25年1月18日 回収率: 配布数2,083ヶ所、回収901ヶ所、回収率 43.3%	

福祉人材情報システムによる分析（随時 通年）

分析：随時実施

改修：福祉人材情報システム（中央福祉人材センター管理）の改修

福祉・介護ミニ就職フェアの開催（6回 8月・2月）※福祉の職場合同面接会に開催名称変更

【第1回】

共催：福島労働局、各公共職業安定所、（財）介護労働安定センター福島支所

内容：施設面談コーナー、ハローワークコーナー、福祉人材センター

登録・相談コーナー、介護職就労等相談コーナー

結果：来場者 287 名、求人ブース 139（23 年度：163 名、75 ブース）

会津若松会場

期日：7 月 28 日

場所：会津若松ワシントンホテル（会津若松市）

結果：来場者 32 名、求人ブース 12（23 年度 38 名、10 ブース）

いわき会場

期日：7 月 29 日

場所：いわきワシントンホテル椿山荘（いわき市）

結果：来場者 15 名、求人ブース 19（23 年度：28 名、13 ブース）

福島会場

期日：8 月 4 日

場所：ホテル福島グリーンパレス（福島市）

結果：来場者 98 名、求人ブース 50 ※初開催

郡山会場

期日：8 月 11 日

場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）

結果：来場者 142 名、求人ブース 58（23 年度：97 名、52 ブース）

【第2回】

共催：福島労働局、各公共職業安定所、（財）介護労働安定センター福島支所

内容：施設面談コーナー、ハローワークコーナー、福祉人材センター登録・相談コーナー

介護職就労等相談コーナー

結果：来場者 251 名、求人ブース 113（23 年度：132 名、50 ブース）

福島会場

期日：2 月 9 日

場所：ホテル福島グリーンパレス（福島市）

結果：来場者 120 名、求人ブース 47 ※初開催

郡山会場

期日：2 月 23 日

場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）

結果：来場者 131 名、求人ブース 66（23 年度：132 名、50 ブース）

イ）市町村社協、労働行政との連携強化

福祉人材センター運営委員会（2回 10・3月）

【第1回】

期日：11 月 30 日

内容：平成 24 年度福祉人材センター事業経過報告について（中間報告）、平成 24 年度福祉人材センター

における今後の事業展開について

【第2回】

期日：3月6日

内容：平成24年度福祉人材センター事業報告について（中間報告）、平成25年度福祉人材センター事業計画（案）について

ネットワーク構築情報会議（1回 5月）

期日：5月10日

内容：平成23年度事業報告、平成24年度事業計画、福祉人材センター協力指定事業の進め方について、福祉人材養成・確保に関する情報交換

②求職者、従事者への支援

ア) 学生に対する支援の充実

学生に対する就職動向説明会の開催（100校 5月～7月）

期 間：随時

学校数：16校（高校、専門学校、短期大学、大学）（23年度：20校）

聴講者：1,273名（23年度：986名）

事業所PRコーナー等の設置（1回 8月）

【第1回】

内容：福祉の職場合同面接会参加施設・事業所によるPR

結果：来場者計244名、参加施設・事業所延べ18ヶ所

会津若松会場

期日：7月28日

場所：会津若松ワシントンホテル（会津若松市）

結果：来場者55名、参加施設・事業所2ヶ所

いわき会場

期日：7月29日

場所：いわきワシントンホテル椿山荘（いわき市）

結果：来場者13名、参加施設・事業所3ヶ所

福島会場

期日：8月4日

場所：ホテル福島グリーンパレス（福島市）

結果：来場者76名、参加施設・事業所8ヶ所

郡山会場

期日：8月11日

場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）

結果：来場者100名、参加施設・事業所5ヶ所

【第2回】

内容：福祉の職場合同面接会参加施設・事業所によるPR

結果：来場者計186名、参加施設・事業所延べ19ヶ所

福島会場

期日：2月9日

場所：ホテル福島グリーンパレス（福島市）

結果：来場者 84 名、参加施設・事業所 9 ヶ所 郡山会場 期日：2 月 23 日 場所：ビッグパレットふくしま（郡山市） 結果：来場者 102 名、参加施設・事業所 10 ヶ所
中学生・高校生に対する「福祉の仕事」啓発資料の作成（25,000 部 7 月） 1. 中学生向け啓発資料「福祉の仕事 スタートノート」の作成 部 数：40,000 部 配布先：県内の中学 2 年生、市町村社協等 2. 啓発 DVD「福祉の仕事 スタートノート」の作成 枚 数：500 部 配布先：県内の高校、市町村社協等
イ）求職者の技術向上のための講習会の充実 社会福祉施設職場体験事業の実施（随時 4 月～2 月） 実施期間：4 月～2 月 協力施設数：201 ヶ所（23 年度：63 ヶ所） 体験者：延べ 126 名（23 年度：延べ 32 名） 報告会：期 日 3 月 6 日 会 場 県総合社会福祉センター（福島市） 参加事業所 7 ヶ所 内 容 実施状況について、各受入施設・事業所アンケート結果及び体験者アンケート結果について、今後の福祉人材確保について
就職支援講習会の開催（4 回 8 月） 【第 1 回】 内 容：福祉の現場で働く職員からの就職体験談 参加者：244 名 会津若松会場 期日：7 月 28 日 参加者：55 名（会津若松ワシントンホテル） いわき会場 期日：7 月 29 日 参加者：13 名（いわきワシントンホテル椿山荘） 福島会場 期日：8 月 4 日 参加者：76 名（ホテル福島グリーンパレス） 郡山会場 期日：8 月 11 日 参加者：100 名（ビッグパレットふくしま） 【第 2 回】 内 容：福祉の現場で働く職員からの就職体験談 参加者：186 名 福島会場 期日：2 月 9 日 参加者：84 名（ホテル福島グリーンパレス） 郡山会場 期日：2 月 23 日 参加者：102 名（ビッグパレットふくしま）
③資格取得支援 ア）求職者及び従事者への資格取得支援 介護福祉士受験準備講習会の開催（講義・実技・模擬試験） （講義 8 回 8 月～11 月、実技 2 回 2 月、模擬試験 1 回 12 月） 【講義】 期 日：8 月 14 日からの全 9 日間

場 所：郡山ユラックス熱海（郡山市）

受講者：204名（23年度：244名）

内 容：「人間の尊厳と自立、人間関係とコミュニケーション」（8月14日）

「社会の理解」（8月27日）

「発達と老化の理解」（9月18日）

「認知症の理解、障害の理解」（9月28日）

「介護の基本」（10月4日）

「こころのからだのしくみ」（10月23日）

「コミュニケーション技術、生活支援技術」（11月1日）

「生活支援技術、介護過程」（11月20日）

「模擬試験」（12月6日）

【実技】

期 日：第1回 2月21日 第2回 2月22日

場 所：郡山健康科学専門学校（郡山市）

受講者：第1回 21名 第2回 25名（23年度：計49名）

内 容：介護福祉士国家試験に向けた介護技術（実技）の準備講習

介護支援専門員実務研修受講試験の実施（1回）

期 日：10月28日

会 場：福島大学（福島市）、福島学院大学福島駅前キャンパス（福島市）、
福島県総合社会福祉センター（福島市）

受験申込者：2,843名（23年度：2,678名）

実受験者数：2,622名（23年度：2,475名）

合格者数：399名（23年度：317名）

合格率：15.22%（23年度：12.81%）

介護支援専門員実務・再・更新研修の開催（2コース 1月～3月）

期 日：前期Ⅰ 1月16日～19日 前期Ⅱ 1月22日～25日

後期Ⅰ 2月19日～21日 後期Ⅱ 2月26日～28日

会 場：ビッグパレットふくしま（郡山市）

受講者：516名（実務研修400名、再研修57名、更新研修59名）（23年度：432名）

内 容：介護保険法令及び関係通知における介護支援専門員の職務、資格等に関する規定に則り、利用者の自立支援を図るための内容

介護福祉士等修学資金の貸付（1回 4月下旬）

1. 貸付の実施

（1）貸付申込者数 56名（前年度32名）

（2）貸付決定者数 56名（前年度29名）

うち介護福祉士 53名（前年度28名）

県内養成校在校 36名（前年度20名）

県外養成校在校 17名（前年度8名）

うち社会福祉士 3名（前年度1名）

（3）貸付決定額 90,420,000円（前年度42,130,000円）

うち介護福祉士 87,370,000円（前年度41,390,000円）

うち社会福祉士 3,050,000円（前年度740,000円）

2. 貸付選考会の開催 期日：5月9日 3. 債権の管理 総貸付者数 142名（24年度決定者も含む） ＜うち貸付中84名、返還中7名、返還完了5名、（介護従事による）猶予中43名、（介護従事以外による）猶予中2名、全額辞退1名＞ 4. 広報の実施 県内高等学校へ案内送付（10月） 本会情報誌『はあとふる・ふくしま』3月号での募集案内の掲載
④社会福祉施設等への人材養成・確保支援 ア）訪問相談事業の実施 施設・事業所等訪問事業（随時 通年） 訪問数：25ヶ所（23年度：17ヶ所）
イ）安定的な施設経営とよりよい職場環境づくりへの支援 雇用関係給付金の取扱事業の実施（随時 通年） 随時（特定求職者雇用開発助成金（被災者雇用開発助成金）1件）
人材採用担当者研修会の開催（2回 7月） 内容：「人材活用について」「募集から採用まで」「面接実践」 郡山会場 期日：7月10日 参加者：19名（郡山ユラックス熱海） 福島会場 期日：7月12日 参加者：12名（ウィル福島）
労務診断等出前研修事業（随時 通年） 1. 経営支援アドバイザー派遣事業（労務診断事業） 派遣数：10法人、延べ30回 2. 人材育成出前研修事業 ア リスクマネジメント 講 師：NKS J リスクマネジメント㈱ 派遣数：8ヶ所 イ ストレスマネジメント（メンタルヘルス） 講 師：東京メンタルヘルス㈱ 派遣数：3ヶ所 ウ リーダーシップ又は経営 講 師：㈱日本経営 派遣数：8ヶ所 エ 職場研修の推進 講 師：本会 派遣数：3ヶ所 3. 「社会福祉施設・事業所のための労務管理Q&A」の作成 部 数：2,000部 配布先：各社会福祉法人、市町村社協等 4. 社会福祉施設・事業所のための労務管理Q&A（改訂版）の作成 部 数：2,000部

配布先：各社会福祉法人、市町村社協等

5. 人材採用担当者研修会まとめの情報収集

6. 人材確保・育成・定着に係る成功事例の情報収集（12施設）

人事労務研修会の開催（5回コース 6月～10月）

1. 労務管理編

【第1回】

期日：7月20日 参加者：70名（南東北総合卸センター）

内容：「労務管理の本質と担当者としての立場の理解」「労務管理の基礎知識」

【第2回】

期日：8月24日 参加者：69名（南東北総合卸センター）

内容：「労務管理基礎知識」

2. 人事管理編

【第1回】

期日：9月6日 参加者：39名（南東北総合卸センター）

内容：「福祉施設における経営課題」「経営改善のための組織課題の解決方法」

【第2回】

期日：10月5日 参加者：32名（南東北総合卸センター）

内容：「職員活性化のための評価制度」「キャリアを考えた育成方法」

【第3回】

期日：11月8日 参加者：33名（南東北総合卸センター）

内容：「ミドルマネージャーの育成方法」「経営と職員の視点から見た処遇管理」

福祉人材確保推進セミナーの開催

期 日：3月7日

会 場：ビッグパレットふくしま

受講者：84名

講 師：社会福祉法人みかり会 理事長 谷村誠 氏

内 容：「社会福祉法人の経営改革について」

経営専門相談事業（随時 通年）

1. 会計経営等相談 58件（23年度：57件）

2. 法律等相談 0件（23年度：2件）

3. 労務等相談 7件（23年度：2件）

4. 現地指導（労務） 9件（23年度：0件）

ウ）社会福祉施設・養成校との連携

社会福祉施設・養成校との情報交換会の開催（2回 6月・10月）

1. 社会福祉施設及び福祉・介護人材養成校との情報交換会（相双地区）

期日：5月25日

場所：南相馬市民文化会館（南相馬市）

内容：福祉人材確保、定着及び育成の現状と課題について、第3学年の進路動向（進学及び就職）について、人材確保支援（就職支援）事業について

2. 社会福祉施設及び福祉・介護人材養成校との情報交換会（いわき地区）

期日：12月26日

場所：いわき市社会福祉センター（いわき市）

内容：福祉人材確保、定着及び育成の現状と課題について、第3学年の進路動向（進学及び就職）について、人材確保支援（就職支援）事業について

3. 社会福祉施設及び福祉・介護人材養成校との情報交換会（県域）

【第1回】

期日：6月7日

場所：県総合社会福祉センター（福島市）

内容：福祉人材確保、定着及び育成の現状と課題について、卒業年次の学生の進路動向（就職動向）について、人材確保支援（就職支援）事業について、福祉の職場合同面接会（7月～8月）の進め方について

【第2回】

期日：11月30日

場所：県総合社会福祉センター（福島市）

内容：福祉人材確保、定着及び育成の現状と課題について、卒業年次の学生の進路動向（就職動向）について、人材確保支援（就職支援）事業について、福祉の職場合同面接会の進め方について

基本目標 4 > 福祉サービスの質の向上に向けた支援

【推進項目 7】社会福祉従事者の資質向上

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）		
事業報告		
①ニーズに応じた研修の実施		
ア) 研修ニーズに応じた研修体系・内容の見直し		
福祉職員生涯研修課程（全社協開発）および施設種別や職種に応じた課題別による研修の実施 （54 コース 78 回）		
1. 生涯研修（5 コース）		
（1）社会福祉施設新任職員研修（全 6 班）		408 名（県総合社会福祉センター）
（2）社会福祉施設中堅職員研修（全 4 班）		272 名（県総合社会福祉センター）
（3）社会福祉施設中堅職員フォローアップ研修		67 名（県総合社会福祉センター）
（4）社会福祉施設指導的職員研修（全 2 班）		113 名（県総合社会福祉センター）
（5）社会福祉施設長等運営管理職員研修		61 名（県総合社会福祉センター）
2. 現任研修（13 コース）		
（1）老人福祉施設職員研修Ⅰ		159 名（ウィル福島）
（2）老人福祉施設職員研修Ⅱ		145 名（郡山ユラックス熱海）
（3）認知症高齢者対応研修		226 名（郡山ユラックス熱海）
（4）障害者福祉施設職員研修		58 名（郡山ユラックス熱海）
（5）児童福祉施設職員研修		15 名（県総合社会福祉センター）
（6）児童厚生員・放課後児童指導員研修		96 名（郡山ユラックス熱海）
（7）社会福祉施設看護等職員研修		153 名（郡山ユラックス熱海）
（8）社会福祉施設栄養士研修		146 名（郡山ユラックス熱海）
（9）保育所新任保育士研修		121 名（郡山ユラックス熱海）
（10）保育所保育士専門研修Ⅰ		140 名（郡山ユラックス熱海）
（11）保育所保育士専門研修Ⅱ		123 名（県農業総合センター）
（12）保育所給食関連研修		117 名（郡山ユラックス熱海）
（13）保育所指導管理者研修		71 名（県農業総合センター）
3. 訪問介護員現任研修（3 コース）		
（1）訪問介護員初任者研修		135 名（郡山ユラックス熱海）
（2）訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅰ		146 名（郡山ユラックス熱海）
（3）訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ		121 名（郡山ユラックス熱海）
（4）訪問介護適正実施研修Ⅰ		119 名（郡山ユラックス熱海）
（5）訪問介護適正実施研修Ⅱ		98 名（郡山ユラックス熱海）
4. 地域介護専門職員研修（5 コース）		
（1）介護講習等企画担当者研修	分析編	32 名（県男女共生センター）
〃	企画編	21 名（県男女共生センター）
（2）相談援助面接研修（基礎編）前後期		44 名（県男女共生センター）
（3）相談援助面接研修（応用編）前後期		33 名（県男女共生センター）
（4）福祉用具・住宅環境改善研修（全 3 回）		24 名（県男女共生センター）
（5）排泄ケア研修	第 1 回前後期	44 名（県男女共生センター）
	第 2 回前後期	17 名（県男女共生センター）
5. 社会福祉協議会職員研修（10 コース）		
（1）社会福祉協議会職員研修会（基礎編）		28 名（県総合社会福祉センター）

- (2) 社会福祉協議会職員研修会（応用編） 11名（県男女共生センター）
※コミュニティソーシャルワーク研修と併催
- (3) 社会福祉協議会職員管理職員研修 19名（県総合社会福祉センター）
- (4) コミュニティソーシャルワーク研修 11名（県男女共生センター）
※社会福祉協議会職員研修会（応用編）と併催
- (5) 市町村社協経営・財務研修 70名（県総合社会福祉センター）
- (6) 災害ボランティアセンター運営講座 31名（県総合社会福祉センター）
- (7) 生活支援相談員基礎研修 38名（県総合社会福祉センター）
- (8) 生活支援相談員ステップアップ研修（全3回） 101名（県総合社会福祉センター）
- (9) 生活支援相談員テーマ別研修（全4回） 335名（県総合社会福祉センター）
- (10) 日常生活自立支援事業生活支援員実働者研修 41名（県総合社会福祉センター）
6. 法人・施設等役職員研修（4コース）
- (1) 社会福祉法人役員・施設長研修Ⅰ 138名（郡山ユラックス熱海）
- (2) 社会福祉法人役員・施設長研修Ⅱ 112名（郡山ユラックス熱海）
- (3) 社会福祉トップセミナー（社協役員） 93名（エルティ）
- (4) 人事労務研修会（人事管理編） 104名（南東北総合卸センター）
（労務管理編） 139名（南東北総合卸センター）
7. 課題別専門分野研修（9コース）
- (1) 職場研修担当職員研修 71名（県総合社会福祉センター）
- (2) 職場研修担当職員フォローアップ研修 45名（県総合社会福祉センター）
- (3) リスクマネジメント研修（全3回） 208名（県総合社会福祉センター）
- (4) 接遇マナー研修（全3回） 161名（県総合社会福祉センター）
- (5) ボランティア受入福祉施設等担当者研修 84名（県総合社会福祉センター）
- (6) 職場におけるストレスマネジメント研修 48名（県総合社会福祉センター）
- (7) 福祉サービス第三者評価～自己評価～研修 19名（県総合社会福祉センター）
- (8) 福祉サービスに関する苦情解決研修会（苦情解決責任者等） 239名（ウィル福島）
- (9) 福祉サービスに関する苦情解決研修会（苦情受付担当者） 246名（ウィル福島）
8. 民生児童委員研修（5コース）
- (1) 新任民生児童委員研修 25名（県農業総合センター）
- (2) 中堅民生児童委員研修（3方部） 515名（パルセいいざか他）
- (3) 主任児童委員研修 314名（郡山ユラックス熱海）
- (4) 民生児童委員相談援助技法研修（3方部） 321名（ウィル福島 他）
- (5) 民生児童委員協議会会長研修 185名（飯坂ホテル聚楽）

イ) 各種別部会・協議会との連携の充実

社会福祉研修事業運営委員会の開催（1回 3月）

1. 福祉研修事業運営委員会の開催

期日：3月18日

場所：県総合社会福祉センター

内容：(ア) 平成24年度社会福祉研修事業実施状況について
(イ) 平成25年度社会福祉研修事業実施計画(案)について

2. 福祉職員生涯研修講師打合せ会

期日：3月18日

場所：県総合社会福祉センター

- 内容：(ア) 平成 24 年度事業実施状況報告等について
 (イ) キャリアパス対応生涯研修課程（新プログラム）について
 (ウ) 平成 25 年度福祉職員生涯研修の役割分担等について

②生涯研修及び職場内研修の充実

ア) 指導者の継続的養成・確保

全社協中央福祉学院主催「福祉職員生涯研修指導者養成研修の受講

1. 全社協中央福祉学院主催「キャリアパス対応福祉職員生涯研修指導者養成研修」の受講

期日：12 月 15 日～17 日

会場：中央福祉学院「ロフォス湘南」

派遣者：9 名	愛星福社会	理事長	星 光一郎 氏
	福島市社会福祉協議会	事務局長	遠藤 潔 氏
	福島県やまぶき荘	施設長	佐藤 京子 氏
	聖・輝きの郷	施設長	斎藤 龍哉 氏
	デイサービスセンターゆずのさと	施設長	高木 健 氏
	金山町社会福祉協議会	事務局長	加藤 ゆき 氏
	柳津町高齢者生活福祉センター	所長	目黒 正一 氏
	本会 地域福祉課	課長補佐	渡辺 誠一
	本会 人材研修課	主任主査	斉藤 知道

2. 全社協中央福祉学院主催「職場研修担当職員研修会～インストラクター養成コース～」

期日：4 月 17 日～20 日

会場：中央福祉学院「ロフォス湘南」

派遣者：1 名 本会 人材研修課 主任主査 斉藤 知道

イ) 職場内研修支援の充実

各社会福祉施設等職場内研修指導者派遣の実施（年間 10 回 適宜対応）

1. 特別養護老人ホーム愛日荘園（福島市）職場研修（6 月 21 日） 40 名
2. 訪問介護事業所「まめ」（福島市）接遇研修（8 月 18 日） 30 名
3. 障害者支援施設ふきのとう苑（相馬市）接遇研修（11 月 21 日） 17 名
4. 喜多方市社会福祉協議会（喜多方市）接遇研修（12 月 15 日） 80 名

基本目標 4 > 福祉サービスの質の向上に向けた支援

【推進項目 8】社会福祉従事者の福利厚生への推進

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
実施状況	
① 社会福祉従事者施設団体職員共済事業の運営	
ア) 資産の外部委託運用	
資産の外部委託運用（随時・通年）	
三菱UFJ信託銀行からの運用状況の受理	
平成 23 年度第 4 四半期分（4 月 26 日）	
平成 24 年度第 1 四半期分（7 月 30 日）	
平成 24 年度第 2 四半期分（10 月 31 日）	
平成 24 年度第 3 四半期分（2 月 1 日）	
契約者への運用状況の報告（毎月 1 回）	
毎月 1 回発送	
イ) 財政検証の実施	
財政検証の実施（6 月～12 月）	
現行制度の将来推計を行い、目標とする積立水準に対する財政状況についての分析・検証を実施。	
実施期間：6 月～8 月末日	
結果報告：9 月 11 日	
内 容：ア 現行制度の財政状況〔過去 3 年間〕	
イ 加入者分布の特徴	
ウ 現行制度の財政状況〔今後 10 年間の予測〕	
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容	
運営委員会の開催	
【第 1 回】 期日：5 月 21 日	
内容：平成 23 年度事業報告について	
平成 23 年度収入支出決算報告について	
財政検証の実施について	
【第 2 回】 期日：12 月 10 日	
内容：平成 24 年度事業中間報告について	
資産運用状況について	
財政検証の結果について	
平成 24 年度収入支出補正予算(案)について	
【第 3 回】 期日：3 月 11 日	
内容：資産運用状況について	
平成 24 年度事業概要報告について	
平成 24 年度収入支出補正予算(案)について	
平成 25 年度事業計画(案)・収入支出予算(案)について	
共済契約の解除について	
東日本大震災による支払免除の取扱いについて	

各種給付事業の実施（毎月 1 回決定・送金）				
1. 退会給付金	1,087 件	1,102,332 千円	(1,415 件	1,397,617 千円)
2. 結婚祝金	237 件	4,740 千円	(258 件	5,160 千円)
3. 出産祝金	345 件	3,460 千円	(375 件	3,760 千円)
4. 弔慰給付金	13 件	260 千円	(14 件	280 千円)
5. 傷病見舞金	12 件	120 千円	(15 件	150 千円)
6. 災害見舞金	70 件	1,400 千円	(535 件	10,700 千円)
※（ ）内は前年度同期実績				
資金貸付事業の実施（毎週 1 回決定・送金）				
1. 一般資金	46 件	34,070 千円	(54 件	36,040 千円)
2. 住宅資金	2 件	7,600 千円	(1 件	3,500 千円)
事務説明会の実施				
期 日：12 月 13 日（郡山市 福島県農業総合センター）				
参加者：121 名				
事務取扱い手引きの改訂・作成				
300 部作成し、事務説明会にあわせて配布。				
②社会福祉施設職員等退職手当共済事業の事務受託				
ア) 受託事務の実施				
実務研修会の実施				
期 日：12 月 13 日（郡山市 福島県農業総合センター）				
参加者：97 名				
受託団体事務打合せへの参加				
期日：2 月 15 日				
会場：福祉医療機構 会議室				
③福利厚生センター事業の充実				
ア) 充実した福利厚生サービスの提供				
企画・情報会議の開催（2 回 7、3 月）				
【第 1 回】期日：7 月 19 日				
内容：平成 24 年度福利厚生センター事業実施状況について				
ディナーパーティーの会場について				
【第 2 回】期日：3 月 1 日				
内容：平成 25 年度福利厚生センター事業計画(案)について				

会員交流事業の実施（9回 6～12月）

1. 東北楽天ゴールデンイーグルス団体観戦（VS 横浜 DeNA）

期日：5月26日 参加者：50名

2. ディズニーランドホテルに泊まる東京ディズニーリゾート2日間

期日：7月18日～19日 参加者：43名

3. 日帰りリフレッシュプラン

実施期間：7月13日～9月14日

会 場：プルミエール箕輪、空の庭プチホテル、羽鳥湖高原レジーナの森

利 用 者：136名

4. ディズニーランド日帰り弾丸ツアー

期日：9月7日 参加者：23名

5. 東北楽天ゴールデンイーグルス団体観戦（VS 西武）

期日：9月8日 参加者：46名

6. 一度は行きたい！東京スカイツリー

期日：10月18日 参加者：60名

7. ディナーパーティー

期日：10月30日～11月16日（17会場・20回） 参加者：326名

8. 劇団四季「ライオンキング」東京観劇日帰りツアー

期日：12月1日（土） 参加者 60名

9. 親子で楽しむハワイアンズ

期日 12月14日～15日 参加者 108名

家庭用常備薬の斡旋（7～11月）

【第1回】 実施時期：6月9日～28日 利用事業所：215ヵ所

【第2回】 実施時期：10月1日～11月8日 利用事業所 229ヵ所

福利厚生センター全国会議への参加

【第1回】 期日：4月25日（東京都千代田区）

【第2回】 期日：10月26日（東京都千代田区）

イ) 未加入法人への加入促進

未加入法人への加入促進（随時 通年）

新規加入：2ヵ所

基本目標 5 > 福祉力向上にむけての協働・支援

【推進項目 9】市町村社会福祉協議会との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①市町村社協への経営支援	
ア) 会計・法律・労務等に対応した研修・会議・相談事業の強化 経営・財務研修会（1回(1日)60名程度 11月）	
社会福祉法人新会計基準概要研修会 期日：2月14日 70名 （県総合社会福祉センター）	
相談・個別訪問事業の実施（10回程度 通年）	
1. 法人運営・体制・会計事務について 9回 2. 地域福祉活動計画策定について 1回 3. 市町村社協役職員研修について 3回 4. 市町村社協への巡回訪問について 7回	
②市町村社協連絡協議会活動の充実	
ア) 市町村社協連絡協議会の自主的活動の充実 会長会（全体会）の開催（2回 5、1月）	
【第1回】 期日：5月11日（県総合社会福祉センター） 【第2回】 期日：2月8日（ウエディングエルティ）	
事務局長会役員会の開催（2回 5月・1月）	
期日：6月6日（県総合社会福祉センター）	
地区連絡会の開催（1回 10月）	
事務局長会各方部連絡会の開催 相双方部：12月 7日（南相馬市） 県南方部：12月10日（棚倉町） 県北方部：12月11日（二本松市） 県中方部：12月12日（郡山市） 会津、南会津方部：12月14日（会津若松市）	
社会福祉トップセミナー（1回 1月）	
期日：2月8日 121名（ウエディングエルティ）	
【追加】日常生活自立支援事業に関する要望書提出及び説明会（再掲）	
1. 要望書提出（7月12日 福島県庁内） 2. 県議会福祉公安委員会正副委員長への事業説明（8月30日 県議会事務局）	
③市町村社協における人材養成・研修の推進	
ア) 専門性の高い内容・新たな福祉課題へ対応していくための研修実施 社協職員研修（基礎編）（1回(1日)30名程度 5月）	
期日：7月2日 参加者：28名（県総合社会福祉センター）	

社協職員研修（応用編）（再掲）1回(1日)30名程度 9月)
期日：3月12日・13日 参加者：10名（福島県男女共生センター）
社協職員研修（管理編）（1回(1日)30名程度 11月）
期日：11月19日 参加者：19名（県総合社会福祉センター）
コミュニティソーシャルワーク研修会（【前期】1回(2日)30名【後期】1回(2日)30名 12月）
期日：3月12日・13日 参加者：10名（福島県男女共生センター）（再掲）
地域福祉活動研究会の実施（4回 8・10・12・2月）
【第1回】 期日：7月26日（福島県男女共生センター） 内容：（1）東日本大震災時の振り返りと課題について （2）「福島県・市町村社会福祉協議会における災害時相互支援に関する協定書」を踏まえての今後の具体的支援方策について （3）具体的事例からの支援方策 （南相馬市小高区の状況と南相馬市V Cの連携支援について） 【第2回】 期日：9月24日（県総合社会福祉センター） 内容：災害時における県社協及び県内市町村社協間の具体的支援方策に関する方針について ①第1回を踏まえた具体的支援方策について （「出来なかった」に対する改善、解決に向けて） ②支援に入る側、支援を受ける側に求められるもの（スキル、心構え等） 【第3回】 期日：11月13日（福島県男女共生センター） 内容：（1）今後のスケジュールについて（今年度の目標） （2）災害時における県社協及び県内市町村社協間の具体的支援方策に関する方針について ①第2回を踏まえた課題精査と具体的支援方策について ②支援に入る側、支援を受ける側に求められるもの（スキル、心構え等） 【第4回】 期日：1月22日（県総合社会福祉センター） 内容：災害時における県社協及び県内市町村社協間の具体的支援方策に関する方針について 市町村社会福祉連絡協議会全体会への提案書（報告書）の内容について
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容
市町村社協職員便覧の作成（1回 4月）
市町村社協職員便覧の作成 部数：800部
全国会議・ブロック会議等への参加（随時 通年）
1. 平成24年度都道府県・指定都市社協部・課・所長会議（4月25、26日 東京都） 2. 新会計基準対応 社協モデル経理規程研修会（12月26日 東京都）

北海道・東北ブロック地域福祉部課長会議の開催（1回1日） 11月）

期 日：11月27日・28日

会 場：福島市 福島ビューホテル

内 容：基調説明 全国社会福祉協議会 地域福祉部

全国ボランティア・市民活動振興センター

副部長 後藤 真一郎 氏

情報交換・協議 各道県・政令指定都市社協からの提出協議事項について

基本目標 5 > 福祉力向上に向けての協働・支援

【推進項目 10】社会福祉施設等との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）

事業報告

①社会福祉施設等との連携

ア) 部会・協議会活動の充実

老人福祉施設協議会活動の充実

1. 総会の開催

【第1回】期日：4月25日（郡山市）

【第2回】期日：2月22日（石川町）

2. 監事会の開催

期日：4月25日（郡山市）

3. 役員会の開催

【第1回】期日：4月11日（福島市）

【第2回】期日：7月24日（福島市）

【第3回】期日：12月13日（福島市）

【第4回】期日：1月23日（福島市）

4. 復興委員会の開催

【第1回】期日：5月9日（福島市）

【第2回】期日：7月24日（福島市）

【第3回】期日：12月13日（福島市）

【第4回】期日：1月23日（福島市）

5. 企画広報委員会の開催

【第1回】期日：10月9日（郡山市）

【第2回】期日：11月13日（郡山市）

6. 広報誌の発行

老施協ふくしまの発行 500部

7. 通所介護事業所の運営状況に関する調査の実施

調査時期：12月

調査対象：157施設（会員施設）

回答施設：89施設（56.7%）

8. 在宅部会職員研修会「介護送迎担当者安全運転講習」

県北地区 6月18日 参加者 18名（福島市）

会津地区 6月25日 参加者 16名（会津若松市）

県中地区 6月5日 参加者 19名（郡山市）

9. 介護施設職員募集の新聞広告掲載事業

新聞広告掲載日：1月10日

掲載紙：福島民報、福島民友

10. 講演会の開催（県特養連との共催）

期日：2月21日

会場：八幡屋（石川町）

内容：「高齢者施設におけるリスクマネジメント」

参加者：125名

1. 総会の開催

期日：5月10日（郡山市）

2. 監事会の開催

期日：5月10日（郡山市）

3. 役員会の開催

【第1回】期日：7月25日（郡山市）

【第2回】期日：12月12日（郡山市）

【第3回】期日：3月8日（郡山市）

4. 調査広報委員会

【第1回】期日：5月22日（郡山市）

【第2回】期日：7月13日（郡山市）

【第3回】期日：11月21日（郡山市）

5. 健康管理等企画運営委員会

【第1回】期日：5月25日（郡山市）

【第2回】期日：8月22日（郡山市）

【第3回】期日：12月6日（郡山市）

6. 研修委員会の開催

【第1回】期日：6月7日（福島市）

【第2回】期日：7月20日（郡山市）

7. 調査の実施

「障がい児者施設（事業所）における利用者の虐待防止・権利擁護に関するアンケートおよび職員の意識調査」

調査時期：8～9月

調査対象：107施設（会員施設） 535名（各施設5名）

回答施設：76施設（71.0%） 462名（86.3%）

「障がい児者施設（事業所）における利用者の口腔ケアに関する調査」

調査時期：10月

調査対象：107施設（会員施設）

回答施設：89施設（83.2%）

8. 研修会の開催

（1）「日常の生活支援に潜む虐待のリスクを考える」

期日：9月27日（郡山市） 参加者：69名

（2）「利用者の口腔ケアについて」

期日：11月29日（郡山市） 参加者：48名

9. 送迎担当者安全運転講習会

期日：10月12日（いわき市） 参加者：15名

10. 広報紙の発行

「すまいる通信 3号」 500部

地域包括・在介協議会活動の充実

1. 総会の開催

期日：5月31日（福島市）

2. 監事会の開催

期日：5月31日（福島市）

3. 役員会の開催

期日：3月27日（郡山市）

4. 研修委員会の開催

【第1回】（4月10日 郡山市）

【第2回】（6月28日 郡山市）

【第3回】（3月27日 郡山市）

5. 企画広報委員会の開催

【第1回】（10月19日 郡山市）

【第2回】（1月18日 郡山市）

6. 研修会の開催

（1）初任者研修

期日：5月17、18日（郡山市） 参加者：54名

（2）現任者研修

期日：9月5日（郡山市） 参加者：66名

7. 広報紙の発行

「Activeふくしま」の発行 500部

8. 東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会会長等合同会議

【第1回】（7月4日 山形市）

【第2回】（11月15日 山形市）

【第3回】（3月14日 山形市）

9. 東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会

期日：11月15日～16日

児童福祉施設部会の充実

1. 総会の開催

期日：5月15日（福島市）

2. 監事会の開催

期日：5月15日（福島市）

3. 第60回東北ブロック児童養護施設研究協議会第5回実行委員会

期日：6月12日（福島市）

4. 第60回東北ブロック児童養護施設研究協議会の開催

期日：6月26、27日（福島市「福島ビューホテル」 参加者130名）

5. 定例会の開催

【第1回】（8月6日 福島市）

【第2回】（11月12日 福島市）

【第3回】（2月28日 福島市）

6. 職員研究会活動

（1）職員研究会総会（4月27日 郡山市）

（2）各種行事委員会（5月11日 福島市）

（3）第1回心理職員等研修会（5月30日 郡山市）

(4) 第1回調査広報委員会 (6月7日 郡山市) (5) 第1回職員研修会 (7月13日 福島市) (6) 事務職員等研修会 (8月28日 相馬市) (7) 第2回心理職員等研修会 (9月19日 福島市) (8) 第2回調査広報委員会 (10月19日 郡山市) (9) 施設視察研修会 (11月15日～16日 栃木県) (10) 第2回職員研修会 (10月26日 福島市) (11) 給食担当職員等研修会 (11月8日～9日 会津若松市) (12) 第3回職員研修会 (12月6～7日 福島市) (13) 第3回調査広報委員会 (1月11日 郡山市) (14) 第3回心理職員等研修会 (2月21日 福島市) (15) 職員研究会役員会 (3月5日 郡山市) 7. 児童福祉論集「まなざし第36巻」の発行 8. 第32回児童福祉施設交歓球技大会 (9月16日 福島市) 9. 聖マリア児童福祉基金による助成 (1) 運営委員会 (3月22日 福島市) (2) 助成対象児童の決定 44名
母子生活支援施設部会の充実
1. 総会の開催 期日：5月15日 (福島市) 2. 監事会の開催 期日：5月15日 (福島市) 3. 北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会への参加 (仙台市) 期日：9月13日、14日
社会福祉施設経営者協議会活動の充実
1. 総会の開催 【第1回】(7月3日 福島市) 【第2回】(3月7日 郡山市) 2. 社会福祉セミナーの開催 【第1回】(7月3日 福島市) 【第2回】(3月7日 郡山市) 3. 正・副会長会議の開催 【第1回】(6月25日 福島市) 【第2回】(2月7日 福島市) 4. 理事会の開催 【第1回】(6月25日 福島市) 【第2回】(2月7日 福島市) 5. 監事会の開催 期日：6月20日 (福島市) 6. 選考委員会の開催 期日：6月20日 (福島市) 7. 全国社会福祉施設経営者大会への参加 (浜松市) 期日：9月24日、25日 8. 東北・北海道ブロックセミナーへの参加 (盛岡市)

期日：10月21日、22日 9. 社会福祉法人経理担当職員研修 期日：1月29日（福島市） 参加者：174名 10. 社会福祉法人接遇指導者研修 期日：2月21日～22日（福島市） 参加者：31名
イ）課題把握と情報提供 避難施設の情報把握と課題整理（随時 通年）
避難施設への訪問（8施設 延べ12日） 再開・継続施設への訪問（10施設 延べ72日）
ウ）社会福祉関係団体との連携・協働 社会福祉関係団体との連携・協働（随時 通年）
東京電力に対する要求書の提出 期日：8月17日（福島市 東京電力福島補償相談センター） 内容：本賠償の逸失利益の算定方法（特別の努力の反映）に関する要求 東北厚生局と被災法人の意見交換会 期日：2月27日（郡山市）
相双地域等介護職員応援事業
1. 会議の開催等 福島県相双地域等福祉人材確保対策会議への参画 【第1回】（5月31日 福島市） 福島県相双地域等福祉人材確保対策実務者会議への参画 【第1回】（5月31日 福島市） 【第2回】（7月20日 福島市） 【第3回】（12月19日 福島市） 応援職員受入れ施設間の意見交換会の開催 期日：12月13日（福島市） 南相馬市、飯館村の社会福祉法人に対する介護職員の受入れ開始式（6月4日） 介護応援職員仮設宿舎完成式（7月31日） 2. 応援職員受入れ施設 特別養護老人ホーム 長寿荘（南相馬市） 特別養護老人ホーム 福寿園（南相馬市） 特別養護老人ホーム 竹水園（南相馬市） 特別養護老人ホーム いいたてホーム（飯館村） 特別養護老人ホーム 花ぶさ園（広野町） 障害者支援施設 原町共生授産園 他（相馬市） 3. 応援職員の状況（6月4日～3月末現在） 17 道府県 （北海道・青森・秋田・山形・福島・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・滋賀 京都府・大阪府・岡山・福岡・熊本・鹿児島） 68 法人 延べ150名

②社会福祉事業等経営相談支援事業 ア) 相談支援体制の充実 経営専門相談事業 (随時) (再掲)【推進項目 6】福祉人材の養成・確保にて実施。
1. 会計経営等相談 58 件 (23 年度 : 57 件) 2. 労務等相談 7 件 (23 年度 : 2 件) 3. 現地指導 (労務) 6 件
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 ストレスマネジメント研修
職場におけるストレスマネジメント研修 期日 : 10 月 16~17 日 参加者 : 48 名 (県総合社会福祉センター)
広報講習会
広報講習会 (基礎編) 期日 : 2 月 7 日~8 日 参加者 : 28 名 (県総合社会福祉センター)
教員免許取得介護等体験事業 (随時 通年)
1. 体験受入可能施設数 193 施設 2. 体験大学・人数 28 大学・409 名
聖マリア児童福祉基金運営事業 (助成事業)
聖マリア児童福祉基金による助成 (1) 運営委員会 (3 月 22 日 福島市) (2) 助成対象児童の決定 44 名

基本目標 5 > 福祉力向上に向けての協働・支援
 【推進項目 11】民生委員・児童委員との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）
事業報告
①民生委員・児童委員活動の支援 ア) 困難ケースに対応した研修の企画、実施 相談援助研修会（2回 1日） 【第1回】期日：1月18日 参加者：100名（福島市・ウィル福島） 【第2回】期日：1月23日 参加者：138名（郡山市・郡山ユラックス熱海） 【第3回】期日：1月30日 参加者：83名（会津若松市・会津アピオスペース）
民生児童委員協議会会長研修（1回 2日） 期 日：9月20日～21日 会 場：ホテル聚楽（福島市） 参加者：185名
中堅民生委員研修（1回 1日・3方部） 1. 県北方部 期日：11月19日 参加者：203名（福島市・パルセいいざか） 2. 会津・南会津方部 期日：12月3日 参加者：150名（会津若松市・会津アピオスペース） 3. 県中・県南方部 期日：12月6日 参加者：162名（郡山市・郡山市労働福祉会館）
新任民生委員研修（1回） 期 日：2月13日 参加者：25名（郡山市・福島県農業総合センター）
イ) 県民児協・重点活動方策への協力 市町村民児協活動支援（24回程度） 1. 伊達市民生委員連絡協議会及び事務局合同会議（4月24日） 2. 三春町民児協定例会（5月17日） 3. 泉崎村民児協定例会（6月25日） 4. 石川町民児協定例会（7月20日） 5. 田村市船引方部民児協定例会（7月24日） 6. 檜葉町民児協定例会（8月6日） 7. 磐梯町民児協定例会（8月24日） 8. 檜葉町民児協定例会（9月10日） 9. 大熊町民児協定例会（9月12日） 10. 磐梯町民児協定例会（9月26日） 11. 南相馬市民児協研修会（10月9日） 12. 会津地方民生委員会長連絡会全体研修会（11月1日） 13. 川俣町民協定例会（11月16日） 14. いわき市中堅民生委員研修会（1月16日） 15. 檜葉町民児協定例会（3月8日） 16. 二本松市安達方部民生児童委員合同研修会（3月11日） 17. いわき市新任民生委員・児童委員研修会（3月19日）

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①適正な法人運営	
ア) 理事会・評議員会・監事会機能の充実	
理事会（5回） 評議員会（4回） 監事会（2回）	
1. 理事会	
【第1回】	
期日：4月4日	
内容：副会長の互選、会長職務代理者の選任	
【第2回】	
期日：5月28日	
内容：23年度事業報告、23年度一般会計並びに特別会計決算報告、24年度一般会計並びに特別会計第一次補正予算(案)、規程の一部改正（案）、評議員の委嘱の同意	
【第3回】	
期日：9月27日	
内容：24年度事業中間報告、副会長の選任、24年度一般会計並びに特別会計第二次補正予算(案)、規程の一部改正（案）、評議員の委嘱の同意	
【第4回】	
期日：12月17日	
内容：24年度事業中間報告、24年度一般会計並びに特別会計第三次補正予算（案）、契約の承認、評議員の委嘱の同意	
【第5回】	
期日：3月25日	
内容：24年度一般会計並びに特別会計第四次補正予算（案）、25年度事業計画（案）、25年度一般会計並びに特別会計予算（案）、25年度業務委託及び受託事業の契約、定款の一部改正（案）、諸規程の一部改正（案）、評議員の委嘱の同意	
2. 評議員会	
【第1回】	
期日：5月28日	
内容：23年度事業報告、23年度一般会計並びに特別会計決算報告、24年度一般会計並びに特別会計第一次補正予算(案)、理事の選任	
【第2回】	
期日：9月27日	
内容：24年度事業中間報告、24年度一般会計並びに特別会計第二次補正予算(案)	
【第3回】	
期日：12月17日	
内容：平成24年度事業中間報告、平成24年度一般会計並びに特別会計第三次補正予算（案）、理事の選任	
【第4回】	
期日：3月25日	
内容：24年度一般会計並びに特別会計第四次補正予算（案）、25年度事業計画（案）、25年度一般会計並びに特別会計予算（案）、定款の一部改正（案）、諸規程の一部改正（案）、理事・監事の選任	

3. 監事監査

【第1回】

期日：5月16日

内容：23年度事業報告、23年度一般会計並びに特別会計決算

【第2回】

期日：12月12日

内容：24年度中間事業報告、24年度一般会計及び特別会計収支状況報告

イ) 専門機関との連携（随時 通年）

適正な法人運営のため、社会保険労務士や公認会計士等との連携。

ウ) 福島県総合社会福祉センターの運営

耐震診断結果に基づく補強計画の作成（12月まで）

耐震補強計画業務着手

着手日：5月29日

委託先：財団法人ふくしま市町村建設支援機構

②個人情報保護・苦情解決体制

ア) 職員への啓発

個人情報保護に関する方針の徹底（随時）

「個人情報取扱い業務概要説明書」等の見直し検討。

③会員制度

ア) 一般会員の加入促進

未加入施設・事業所への積極的な加入促進（随時）

平成24年度新規会員施設・事業所：13ヵ所

イ) 特別賛助会員の加入促進

未加入企業への積極的な加入促進（随時）

常勤役員による加入促進訪問：26ヵ所

平成24年度新規会員：8ヵ所

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①安定的な財政基盤の確立	
ア) 補助金・受託金の確保	
25 年度必要な補助金・受託金確保のための予算要望活動（1 回 9 月）	
平成 25 年度県予算編成に対する要望活動	
期日：9 月 18 日	
要望先：県保健福祉部長・子育て支援担当理事	
個別回答：10 月 16 日	
イ) 自主財源の確保	
斡旋・紹介手数料等の増収（随時）	
自動車リース	
目標：年間 30 台の新規リース契約 実績：新規登録台数 7 台	
ウ) 民間資金の活用	
赤い羽根共同募金を財源とした事業展開（4 月～3 月）	
1. 総合福祉情報誌「はあとふるふくしま」の発行（8,040,000 円）	
2. 第 16 回ボランティアフェスティバル開催事業（930,000 円）	
3. 地域で取り組む福祉教育推進事業（450,000 円）	
4. 平成 24 年東北ブロック児童養護施設研究協議会事業（400,000 円）	
5. 高齢者介護ガイドブック“いきいき”作成事業（500,000 円）	
6. ボランティアサポート募金（4,420,000 円）	
エ) 事務費コストの削減	
消耗品の単価契約等の実施（4 月）	
消耗品単価契約実施 4 月	
オ) 財政検討会の設置	
本会財政の適正かつ永続的安定に向けた検討（月 2 回 ～12 月）	
昨年度から継続開催	
4 月 18 日	第 8 回（法人の財源構造の検討）
5 月 2 日	第 9 回（同）
5 月 30 日	第 10 回（自主財源確保策の検討）
6 月 20 日	第 11 回（同）
7 月 4 日	第 12 回（第 2 段階中間報告案の確認）
8 月 22 日	第 2 段階中間報告
9 月 5 日	第 14 回（第 2 段階中間報告に対する提言）
9 月 20 日	第 15 回（自主財源確保に向けた新規事業の検討）
10 月 3 日	第 16 回（第 3 段階のまとめに向けた資料の検討）
10 月 17 日	第 17 回（新たな財源確保に関する提案内容の確認）
11 月 7 日	第 18 回（第 3 段階最終報告書項目立ての確認）
11 月 21 日	第 19 回（第 3 段階最終報告書の整理、まとめの確認）

実施計画／実施項目／当年度実施内容／（当初予定）	
事業報告	
①事務局体制の充実強化	
ア) 事務局組織・分掌事務の検証	
事務局組織・事務分掌の検証（随時）	
衛生委員会の開催	
衛生委員会	
4月23日	「平成24年度の活動内容について」
5月14日	「職場の常備薬について」
6月11日	「夏季に向けた職場環境の改善」
7月9日	「放射線問題に関する職場としての取り組み」
8月13日	「職場におけるストレスマネジメント」
9月14日	「健康管理に関する職場研修について」「健康診断の実施について」
10月31日	講演会「原発事故、放射線、そして私たちの暮らし」 講師：わたり病院 医師 斎藤 紀 氏
11月12日	「冬季に向けた職場環境の改善」「感染症(インフルエンザ)予防対策」
12月12日	「健康管理に関する職員アンケート調査について」「感染症対策の徹底」
1月28日	「健康管理に関する職員アンケート調査について」
2月25日	「健康管理に関する職員アンケート調査の結果について」
3月27日	産業医への個別相談会
イ) 職員の資質向上	
全体研修計画に基づいた個人研修の実施（随時）	
社会福祉士通信課程の受講：1名	
精神保健福祉士短期養成通信課程の受講：1名	
社会福祉協議会会計実務講座通信課程（中級・上級）の受講：2名	
都道府県・指定都市社会福祉協議会中堅職員研修会の受講：1名	
全国・ブロック会議・研修会等への参加	
1. 社会福祉協議会モデル経理規程説明会（4月5日 東京都）	
2. 都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー（7月26、27日 神奈川県）	
3. 北海道・東北ブロック社協・共募事務局長合同会議（9月3・4日 山形県）	
4. 北海道・東北ブロック道県・指定都市社協総務部課長会議の開催 (11月27・28日 福島市「福島ビューホテル」)	